



S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 5

總括報告

瀬戸内国際芸術祭 2025
Setouchi Triennale 2025

瀬戸内国際芸術祭 2025
Setouchi Triennale 2025

総括報告

01	概況	01
02	開催概要	02
03	来場者数	04
04	会場図	06
05	沿革	07
06	ロゴ、メインビジュアル・先行ビジュアル	08
07	重点的な取組み・新しい取組み	10
08	アートプロジェクト・イベント	12
09	交通の整備	22
10	来場者対応	25
11	公式ツアー、カスタマイズツアー	27
12	ボランティアサポーターの活動	28
13	広報	30
14	視察の受入れ	38
15	チケット	39
16	公式グッズ、公式ショップ	40
17	地域への波及、連携	42
18	来場者アンケート	48
19	地域住民の評価	53
20	芸術祭開催による効果	59
21	芸術祭2025の収支状況（3カ年）	60

01

概況

1.

初回から掲げている「海の復権」をテーマに、6回目の開催となる瀬戸内国際芸術祭2025は、瀬戸内の島々と沿岸部を舞台に過去最大の全17エリアにおいて、春・夏・秋の3会期、計107日間にわたり開催した。各会場では、地域の歴史や文化を生かした様々な作品を展開し、多面的に瀬戸内の魅力を伝えた。

2.

今回、沿岸部の3エリアが会場に加わり、新たな瀬戸内の地域資源にフォーカスした展開となった。夏の志度・津田エリアでは、平賀源内ゆかりの志度と白砂青松の津田の松原を舞台に、地域の歴史や物語に根ざした作品を展開した。引田エリアでは、手袋産業の伝統や酒蔵や醤油の蔵等の空間を活用し、ものづくりの息遣いを感じられる作品が生まれた。さらに、秋の宇多津エリアでは、塩の歴史をテーマにした作品を公開し、瀬戸内の産業と文化の奥深さを体感できる場となった。

3.

各会場エリアでは、アーティストとの協働による作品制作、地域の特色を生かした食の提供やおもてなし、港での温かな出迎え・見送りなど、地域の方々が一丸となって芸術祭を盛り上げた。ボランティアサポーター「こえび隊」や企業・団体ボランティアが、作品制作の補助や会期中の作品受付などに積極的に参加し、来場者の満足感や地域とのつながりを生み出し、芸術祭の魅力を支えた。こうした取り組みは、地域の活性化や再生への確かな歩みとなった。

4.

アジアや世界との連携も一層強化し、スウェーデン、ウクライナなど新たに参加した7つの国と地域を含む過去最多の世界37の国と地域からアーティストが参加した。

また、「海でつながる世界」をテーマにした「瀬戸内アジアフォーラム2025」の開催、ベトナムのアートや工芸に焦点を当てたベトナムプロジェクトの展開、「瀬戸内アジアギャラリー」のオープンなど、アジアの多様な文化と交わり、関係性をより深めた。また、初めて国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）との共催により、難民をテーマにした展覧会を開催するなど、新たな関係性を構築した。

「高松港プロジェクト」では、瀬戸内の玄関口として人々を迎える作品展開や瀬戸内の食の提供などにより、世界から集う人々を歓待し、交流する場として広がりを見せた。

5.

総来場者数は108万4,128人で、瀬戸内地域への関心の高まりと訪日外国人旅行者の増加を受け、コロナ禍前の水準に回復した。アジアや欧米各国等から訪れた人々が、島々や沿岸部を巡り、アートと自然、そして地域の人々との交流を楽しむ姿が多く見られた。

一方、来場者の平準化と分散化に積極的に取り組み、より快適に芸術祭巡りを堪能できる環境づくりに努めたが、時期や場所によっては極度の混雑が発生し、課題を残した。また、過去に例を見ないほどの夏の酷暑が新たな課題となった。

02

開催概要

会 期	春:2025年4月18日(金) - 5月25日(日) 38日間 夏:2025年8月1日(金) - 8月31日(日) 31日間 秋:2025年10月3日(金) - 11月9日(日) 38日間 計107日間
会 場	瀬戸内の島々と沿岸部 [全17エリア] 全会期:直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港エリア、宇野港エリア 春会期:瀬戸大橋エリア 夏会期:志度・津田エリア、引田エリア 秋会期:宇多津エリア、本島、高見島、栗島、伊吹島
テ ー マ	「海の復権」
参加作家	37の国と地域から222組256作品、25イベント
主 催	瀬戸内国際芸術祭実行委員会 会長 :池田豊人(香川県知事) 名誉会長 :真鍋武紀(元香川県知事) 〃 :浜田恵造(前香川県知事) 副会長 :綾田裕次郎(香川県商工会議所連合会会長) 〃 :大西秀人(高松市長) 総合プロデューサー :福武總一郎(公益財団法人福武財団名誉理事長) 総合ディレクター :北川フラム(アートディレクター) 構成団体(52団体):香川県、高松市、丸亀市、坂出市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、直島町、宇多津町、多度津町、玉野市、(公財)福武財団、(公財)福武教育文化振興財団、香川県市長会、香川県町村会、四国経済産業局、四国地方整備局、四国運輸局、中国四国環境事務所四国事務所、国立療養所大島青松園、香川県医師会、四国経済連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、(一社)香川経済同友会、香川県農業協同組合、香川県漁業協同組合連合会、香川大学、四国学院大学、徳島文理大学、高松大学、(公財)四国民家博物館、(公社)香川県観光協会、(一社)日本旅行業協会中国四国支部香川地区委員会、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、香川県ホテル旅館生活衛生同業組合、四国旅客鉄道(株)、高松琴平電気鉄道(株)、香川県旅客船協会、(一社)香川県バス協会、香川県タクシー協同組合、(公財)香川県老人クラブ連合会、(一社)香川県婦人団体連絡協議会、(公社)日本青年会議所四国地区香川ブロック協議会、香川県青年団体協議会、さぬき瀬戸塾、(株)百十四銀行(監事)、(株)香川銀行(監事) オブザーバー(3団体):岡山市、岡山県商工会議所連合会、岡山大学
パートナー	株式会社イーティックスデータファーム 株式会社イトーキ 鹿島建設株式会社 カトーレック株式会社 グッチジャパン 株式会社JTB 日本郵便株式会社 野村證券株式会社 株式会社ハースト婦人画報社 株式会社パワーエックス 株式会社ベネッセコーポレーション 株式会社ベネッセホールディングス ホッピービバレッジ株式会社 株式会社三井住友銀行 三井不動産株式会社 三菱地所株式会社 株式会社レクザム
助 成	在日オーストラリア大使館 駐日オランダ王国大使館 駐日スウェーデン王国大使館 台湾文化部 台北駐日経済文化代表処台湾文化センター 公益財団法人アイスタイル芸術文化財団 アジア・ニュージーランド財団 ifa(ドイツ対外文化交流研究所) グレイトブリテン・ササカワ財団 豪日交流基金 独立行政法人国際交流基金 スウェーデン芸術助成委員会 財団法人釜山文化財団 McCahon House モンドリアン財団 一般社団法人四国クリエイティブ協会 公益社団法人企業メセナ協議会

協賛

株式会社チャリ・ロト | 四国旅客鉄道株式会社 | 西日本旅客鉄道株式会社 | 高松空港株式会社 | 大倉工業株式会社 | オリビアン小豆島夕陽ヶ丘ホテル | 四国化成ホールディングス株式会社 | 上海三宁投资有限公司 | 上海盛創建築裝飾工程有限公司 | 日本たばこ産業株式会社 | ミズノ株式会社 | KDDI株式会社 | 高松琴平電気鉄道株式会社 | 公益財団法人ウェスレー財団 | 大日本印刷株式会社 | 大和証券株式会社 | 株式会社イースト | 株式会社大林組 | 香川県建設業協会 高松支部 | 川崎重工業株式会社 | 株式会社七宝 | 株式会社ソニックフロー | 大成建設株式会社 | 株式会社タグノ | 株式会社百十四銀行 | 株式会社フソウ | 株式会社ファミリーマート | 株式会社Life-do.Plus | 株式会社ビザビ | ショーワグローブ株式会社 | ANZEN・PAX株式会社 | アオイ電子株式会社 | 有限会社アキヤマ自販 | アセッターズ株式会社 | 株式会社NTTドコモ 四国支社 | 株式会社大本組 | 岡山ガス株式会社 | オリエンタルモーター株式会社 | 株式会社香川銀行 | 香川県信用金庫協会 | 香川証券株式会社 | かどや製油株式会社 | 木下製粉株式会社 | ケーズデンキ | 株式会社合田工務店 | 株式会社サムソン | 株式会社三光エンジニアリング | JAグループ香川 | 商船三井クルーズ株式会社 | セトラスホールディングス株式会社 | 株式会社ちゅうぎんフィナンシャルグループ | 帝國製菓株式会社 | 中尾食品グループ | ナカシマホールディングス株式会社 | 公益財団法人南海育英会 | 株式会社日本総陰 | 株式会社ハイレゾ | 一般財団法人阪大微生物病研究会 | 本州四国連絡高速道路株式会社 | 公益財団法人松平公益会 | 森ビル株式会社 | ライフデザイン・カバヤ株式会社 | 日本航空株式会社 | CNSホールディングス | 株式会社東芝 | 四国団扇株式会社 | 株式会社協同プレス | 三井物産株式会社 | ANA | 株式会社梓設計 | 株式会社アムロン | ALSOK | 有限会社井上誠耕園 | 今治造船株式会社 | NTT西日本 | 大紀商事株式会社 | 株式会社オーキッド | 株式会社オールブルー | 岡山一番街・さんすて岡山 | 一般社団法人香川県建設業協会 | 香川県信用組合 | 香川県ホテル旅館生活衛生同業組合 | 鎌田醤油株式会社 | 株式会社きんでん四国支社 | 株式会社クボタ | クボタ環境エンジニアリング株式会社 | 株式会社グロップ | 研精堂印刷株式会社 | 株式会社建設マネジメント四国 | 神島化学工業株式会社 | 琴平バス株式会社 | 株式会社四国自動車部品商会 | 四国水族館 | 四国通商株式会社 | 四国電力株式会社 | 四国電力送配電株式会社 | 株式会社ジップ | 清水建設株式会社 四国支社 | 伸興電線株式会社 | 瀬戸内温泉たまの湯/UNOHOTEL | 高松帝酸株式会社 | 株式会社タクテック | 東洋アルミニウム株式会社 | 株式会社トーカイ | 株式会社トヨタレンタリース岡山 | 株式会社トロンマネージメント | 中庭住宅株式会社 | 株式会社西崎組 | 日宝総合製本株式会社 | 日本興業株式会社 | 有限会社双葉船舶食料品店 | 株式会社マキタ | 株式会社マルヨシセンター | 三菱電機株式会社 | 三菱マテリアル株式会社 | 有限会社リズムタイプ | レンフロ・ジャパン株式会社 | アイブリックス株式会社 | 株式会社小竹組 | 株式会社菅組 | 住友商事株式会社 | トヨタモビリティパーツ株式会社 | フジガード株式会社 | 勇心酒造株式会社 | 石川千晶公認会計士事務所 | 株式会社おもちゃ王国 | 一般社団法人香川県トラック協会 | 香川トヨタ自動車株式会社 | 株式会社Coaマネジメント | コーホク印刷株式会社 | コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 | 後藤設備工業株式会社 | 株式会社sailentik | 株式会社サニーエイト | 小豆島醤油協同組合 | 小豆島調理食品工業協同組合 | 損害保険ジャパン株式会社 | 第一生命保険株式会社 東四国支社 | 株式会社トヨタレンタリース東四国 | 西日本ビル管理株式会社 | ネットトヨタ香川株式会社 | ビープルソフトウェア株式会社 | 株式会社松本光春商店 | 三井ガーデンホテル岡山 | 三井住友海上火災保険株式会社 | 株式会社ムレコミュニケーションズ | 株式会社石川組 | 香川県建設業協会 小豆支部 | 香川県建設業協会 西讃支部 | 香川県建設業協会 中讃支部 | 香川県建設業協会 長尾支部 | 香川県舗装協会 | 株式会社高岸工務店 | 高松商運株式会社 | 株式会社日栄建設 | 株式会社ハローズ | 株式会社ヒカリ | 株式会社フューチャー・デザイン・ラボ | eBASE株式会社 | 菱機工株式会社 | あなぶきグループ | 有限会社オートマックス | コスモ石油株式会社 | サカケン株式会社 | 一般社団法人四国クリエイト協会 | 株式会社資生堂 | シンボルタワー開発株式会社 | 大学予備校 岡山進研学院 | 高松キワニスクラブ | 宝田電産株式会社 | 株式会社多丸組 | 富士建設株式会社 | 丸八商工株式会社 | 三豊運送株式会社 | 株式会社名物かまど | 安田技研株式会社 | YKK AP株式会社 四国製造所 | 株式会社ONDO | 株式会社ゴーフールド | 株式会社フクシン | 株式会社アーク・ジオ・サポート | 一般社団法人アスノクビ | 株式会社石井自動車 | 石丸製麺株式会社 | 株式会社ITONAMI | imi株式会社 | 株式会社ADF・アヤベ | ANAクラウンプラザホテル岡山 | SPIのすべてがわかるサイト | オー・エル・エス有限会社 | 株式会社岡山京橋クルーズ | 岡山トヨタ自動車株式会社 | Ongakushitsu Inc. | 風の港まちづくりネットワーク | 北浜alley株式会社 | 株式会社CANARY | 株式会社廣榮堂 | 堺屋醤油株式会社 | 株式会社サピエント | 株式会社讃匠 | 株式会社CO2資源化研究所 | 四国牛乳輸送株式会社 | 株式会社四国総合研究所 | 四国塗装工業株式会社 | 株式会社白鳥どうぶつ園 | セキ株式会社 | 瀬戸内リゾートベッセルおおち | 株式会社ゼロアクセル | 大協建工株式会社 | 株式会社大広 | ダイヤモンド瀬戸内マリンホテル | タナカ印刷株式会社 | 株式会社ティーガイア | 東洋オリーブ株式会社 | 東洋工業株式会社 | 徳寿工業株式会社 | 豊通商株式会社 | 株式会社ナイガイ | 株式会社直島アートユニット | 長尾工業所株式会社 | 株式会社長峰製作所 | 株式会社日経BP | 日生化学株式会社 | 日本生命保険相互会社 高松支社 | 株式会社バイオーム | ばいこう堂株式会社 | ビジネスホテルプリンス | 福田手袋株式会社 | 株式会社富士グリーン | 株式会社FUJIDAN | 株式会社フジワラテクノアート | 丸善工業株式会社 | 株式会社みずば銀行 | 株式会社宮地サルベージ | 株式会社明電舎 四国支店 | 矢崎総業四国販売株式会社 | 株式会社ユーミック | ユニバーサルコンピューター株式会社 | ヨークス株式会社 | 株式会社吉田石油店 | 株式会社リプリ | ルボア株式会社 | 和田精密歯研株式会社

寄付

株式会社IHI | イオンリテール株式会社 | 株式会社STNet | Ongakushitsu Inc. | 香川県漁業協同組合連合会 | 株式会社JR四国ホテルズ | 株式会社デンシヨク | ByteDance株式会社 | 株式会社ハシセン | 株式会社フジ | 株式会社伏見製薬所 | コウ・ティ・イー株式会社 | 四電ビジネス株式会社 | 税理士法人六条

(261企業・団体)

03

来場者数

- 来場者数は、春会期が320,668人、夏会期が282,702人、秋会期が480,758人で、総来場者数は1,084,128人となった。

会場別来場者数

(人)

会場	芸術祭2025の来場者数(107日間※1)				参考 芸術祭2022の来場者数 (105日間※1)
	春会期 38日間 (4/18-5/25)	夏会期 31日間 (8/1-8/31)	秋会期 38日間 (10/3-11/9)	計	
直島	109,706	90,332	138,421	338,459	166,737
豊島 ※2	49,268	36,727	59,369	145,364	97,391
女木島	21,256	13,063	27,008	61,327	44,553
男木島	20,728	11,458	24,434	56,620	40,228
小豆島 ※2	46,607	34,078	59,436	140,121	123,382
大島	2,755	2,120	3,329	8,204	6,517
犬島	12,754	8,329	17,324	38,407	34,503
高松港エリア ※2,3	18,258	14,569	14,617	47,444	62,131
宇野港エリア ※3	7,785	5,246	8,913	21,944	35,479
瀬戸大橋エリア ※3,4	31,551	—	—	31,551	44,790
志度・津田エリア(志度) ※5	—	32,090	—	32,090	—
引田エリア	—	34,690	—	34,690	—
宇多津エリア	—	—	42,783	42,783	—
本島	—	—	25,781	25,781	17,679
高見島 ※2	—	—	20,666	20,666	21,596
粟島	—	—	21,660	21,660	15,163
伊吹島	—	—	17,017	17,017	13,167
合計	320,668	282,702	480,758	1,084,128	723,316

参考数値(夏会期のみ公開の屋外無料作品)

高松港エリア

tk30-1
ベトナムプロジェクト | CÔng Moments～食と手仕事と雑貨のベトナムマルシェ～
来場者数:34,655人

志度・津田エリア(津田)

st05
時間との対話 | ケイトリン・RC・ブラウン&ウェイン・ギャレット
来場者数:27,969人

来場者数のカウント方法について

瀬戸内国際芸術祭は各会場に作品が分散しており、屋外展示作品もあることから、芸術祭のために訪れた実人数やすべての作品ごとの来場者数を把握することができないため、作品の配置状況や来場者の鑑賞ルート等を考慮のうえ、屋内有料施設等入場者のカウントが可能な「基準施設(次ページ参照)」を各会場に設定し、会場内の基準施設への来場者数の合計をその会場の来場者数、各会場の来場者数を合計したものを全体の来場者数としている。(過去の芸術祭においても同様)

※1 会場エリアごとの休日のほか、悪天候や施設メンテナンス等により臨時休館した日も含まれる。

※2 豊島、小豆島、高松港エリア、高見島は、芸術祭2022に比べ、基準施設数が少なく、カウント条件が異なる。

※3 高松港エリア、宇野港エリア、瀬戸大橋エリアは、過去においては、来場者のカウントが可能な屋内有料施設等がなかった又は適当な位置になかったため、屋外無料作品を基準施設に設定していた。

今回は来場者のカウントが可能な屋内有料施設等があることから、これを基準施設としており、これまでと条件が異なる。

※4 芸術祭2022以前においてはエリア名を沙弥島として展開していた。

※5 志度・津田エリアのうち、津田においては、来場者のカウントが可能な屋内有料施設等が存在しないため、カウント可能な志度の数値のみを来場者数としている。

※6 基準施設のうち、小豆島sd32/sd64、高松港エリアtk20については、作品展示の専用施設ではないため、作品鑑賞パスポート利用者のみをカウントしている。

イベント来場者数

10,140人(25イベント計) ※詳細は19～21ページ

会場別来場者数基準施設一覧

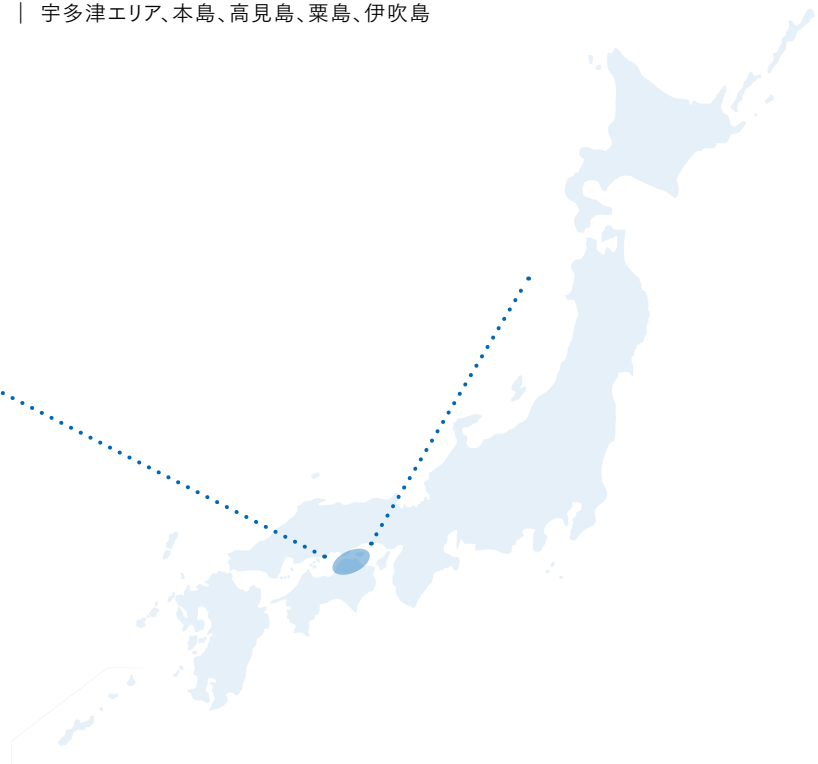
会場	作品番号	施設名・プロジェクト名・作品名	春 会期	夏 会期	秋 会期
直島	na10-B	ANDO MUSEUM	○		
	na11-B	家プロジェクト「角屋」	○	○	○
	na19-B	ベネッセハウス ミュージアム	○	○	○
	na21-B	地中美術館	○	○	○
	na27-B	直島新美術館		○	○
豊島	te03-B	針工場	○	○	○
	te13-B	豊島美術館	○	○	○
	te15-B	心臓音のアーカイブ	○	○	○
	te23	線の記憶	○	○	○
女木島	mg06,08,09-B, 20,28,29,30,31,32	小さなお店プロジェクト	○	○	○
	mg36	女木島人口増加大計画～あなぐまち入居者募集中～	○	○	○
男木島	og21	男木島未来プロジェクト2125 男木島 麦と未来の資料館	○	○	○
	og23	私たちの島	○	○	○
小豆島	sd32/sd64	漁師の夢/ヤザイモン蛸【二十四の瞳映画村内作品】※6	○	○	○
	sd49	Utopia dungeon ～ a Tale of a Time ～	○	○	○
	sd57	うみのうつわ	○	○	○
	sd58	黄金の海に消えた船	○	○	○
	sd60	抱擁・小豆島	○	○	○
	sd62	Inner Light -Floating Houseboat of Setouchi-	○	○	○
	sd65	瀬戸内アジアギャラリー 特別企画展2025	○	○	○
大島	os06	歩みきたりて	○		
	os15	結ばれて当たり前なる夫婦なりしよ		○	○
犬島	in01-B	犬島「家プロジェクト」F邸	○	○	○
	in07-B	犬島精錬所美術館	○	○	○
高松港エリア	tk20	四国村ミウゼウム ※6	○	○	○
	tk28	UNHCR×瀬戸内国際芸術祭 ホンマタカシ「SONGS—ものが語る難民の声」	○	○	○
宇野港エリア	un16	命の塩	○	○	○
	un17	潮返	○	○	○
瀬戸大橋エリア	so11	幻海をのぞく	○		
	so14	瀬居島プロジェクト「SAY YES」【旧瀬居中学校内作品】	○		
志度・津田エリア	st03	風雷讃基		○	
	st04-1	Echoes as Air Flows		○	
引田エリア	hk02/hk03	みんなの手 月まで届く手袋を編もう!/てぶくろくんのおはなし【東かがわ手袋ギャラリー内作品】		○	
	hk04	引田市井分解図		○	
宇多津エリア	ut03	時を紡ぐ			○
	ut04	The Imperative Landscape(2025)			○
本島	ho19	ディスパッチ			○
	ho21	House of Shadows(影の家)			○
高見島	ta02	時のふる家			○
	ta23	高見島アートトレイル			○
粟島	aw14/aw15	粟島の記憶を染める/航海する記憶の船 —ノマドギャラリー in 粟島【粟島芸術家村内作品】			○
	aw18	Awashima, Fall			○
伊吹島	ib08/ib12	ものがみる夢/反響【旧伊吹小学校内作品】			○
	ib14	野生の獲物			○
			28	30	36

04

会場図



- 全会期 | 直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島、高松港エリア、宇野港エリア
- 春会期(4月18日～5月25日)のみ | 瀬戸大橋エリア
- 夏会期(8月1日～8月31日)のみ | 志度・津田エリア、引田エリア
- 秋会期(10月3日～11月9日)のみ | 宇多津エリア、本島、高見島、粟島、伊吹島



2023年5月18日	瀬戸内国際芸術祭実行委員会第31回総会(瀬戸内国際芸術祭2025開催決定)
2023年9月10日	瀬戸内国際芸術祭実行委員会第32回総会(取組方針策定)、作品公募要項発表
2024年3月26日	瀬戸内国際芸術祭実行委員会第33回総会(取組方針改訂、先行ビジュアル発表)
2024年10月17日	瀬戸内国際芸術祭実行委員会第34回総会(企画発表、参加アーティスト、メインビジュアル発表)
2024年10月24日	企画発表会(東京)、作品鑑賞パスポート特別早割販売開始、公式アプリ配信開始、公式ウェブサイト全面リニューアル
2024年11月20日	企画説明会(岡山)
2025年2月17日	案内所本部開設
2025年3月24日	公式ガイドブック発売
2025年3月27日	瀬戸内国際芸術祭実行委員会第35回総会(開幕前最終参加アーティスト発表)
2025年4月15日	春会期プレスプレビュー(～4月17日)
2025年4月18日	瀬戸内国際芸術祭2025春会期開幕(～5月25日)
2025年7月31日	夏会期プレスプレビュー
2025年8月1日	瀬戸内国際芸術祭2025夏会期開幕(～8月31日)
2025年9月30日	秋会期プレスプレビュー(～10月1日)
2025年10月3日	瀬戸内国際芸術祭2025秋会期開幕(～11月9日)
2025年11月9日	閉幕

ロゴ、メインビジュアル・先行ビジュアル

- メインビジュアル、先行ビジュアル共に、初回からメインビジュアルを手掛けているグラフィックデザイナーの原研哉(写真:上田義彦)が制作した。
- ポスターやチラシなどの印刷物、作品鑑賞パスポート、公式ウェブサイト、公式グッズなどに展開し、芸術祭を象徴する重要なコミュニケーションツールとなった。

公式ロゴ

新エリアが加わり、ロゴデザインを変更。



先行ビジュアル (ポスター)

開催年の前年夏前に発表していたメインビジュアルとは別に、早期からの告知ツールとして先行ビジュアルを作成。

瀬戸内に特徴的な、おむすび形やテーブル形の島をモチーフにしたデザイン。



メインビジュアル (ポスター)

メインビジュアルの撮影は、初参加の志度・津田エリアの津田の松原付近で2024/7/26に実施。

モデルは地元中高生を中心に募集し、約60名が参加した。



2025のビジュアルは多数の中高生の集団によって、日常の中の非日常の風景を作り上げました。瀬戸内海の、見慣れた風景の中に巻き起こる特異な時間、すなわち「瀬戸内国際芸術祭」を、詩のような写真表現で演出。海のイベントの再来を告げるビジュアルにしました。 原 研哉

作品鑑賞パスポート（オールシーズン、春、夏、秋）



公式ウェブサイト



公式アプリ



重点的な取組み・新しい取組み

アジアの文化芸術のハブへ

瀬戸内アジアフォーラム2025(10/3～6)

- アジア各地でアートと文化による地域づくりに取り組む人々が集い、経験を分かち合いながら継続的な関係を築く場として「瀬戸内アジアフォーラム2025」を開催した。
- 5回目となる今回は、「海でつながる世界」をテーマに、一般公開のフォーラムとアジア各国・各地域のアーティストが芸術祭の島々を巡りながら語り合い、体験を共にする交流プログラムを実施した。



Photo : Shintaro Miyawaki



ベトナムプロジェクト(8/1～31)

- 現在、日本で暮らすベトナム人は60万人を超え、ベトナムは日本にとって最も関係の深い国のひとつとなっている。こうした背景を踏まえ、世界的に注目を集めるベトナムにフォーカスしたプロジェクトを実施した。
- 高松港キャスルプロムナードにおいて、「Cộng Moments～食と手仕事と雑貨のベトナムマルシェ～」を実施し、工芸・デザイン・音楽・食などを展開するとともに、ベトナム現代美術展「共鳴のコレオグラフィー」やベトナムプロジェクト記念シンポジウムを開催し、これらを通じてベトナムの魅力と人々のエネルギーを伝え、交流を深めた。



Photo(3点とも) : Shintaro Miyawaki

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 共催企画

- これまでオーストラリアやオランダ、ドイツ等の欧米諸国やアジア各国から様々な国のアーティストを迎えてきたが、より積極的に各国との連携を推し進め関係性を深めていく中で、2025年は初めて国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) と共に取り組む企画展を開催し、高松港周辺等において、ホンマタカシ (写真家) による作品を展示した。



Photo(3点とも) : Shintaro Miyawaki

瀬戸内と世界が出会う高松港

高松港プロジェクト

- 高松港プロジェクトを掲げ、芸術祭のインフォメーション機能を港に持たせるとともに、文化芸術や瀬戸内の食、技術などの発信の場とし、四国を代表する国内外からの玄関口として、人々が集い交流する歓待の港を目指した。佐藤研吾 (建築家) が設計し、案内所やグッズショップ、サンシェードやベンチ等を設置したほか、食を展開し、瀬戸内海の景色と調和した空間を形成したとともに、五十嵐靖晃 (作家) のそらあみを設置し、高松港の魅力向上を図った。

「SETOUCHI KITCHEN」

高松港プロジェクトの一つとして、香川県産食材等を使用した食事を提供し、瀬戸内の魅力を発信した。

「食のイベント『SETOUCHI KITCHEN』」(11/1~3、11/8~9)

地元飲食店10者が加わり、香川県産品を使用したバラエティ豊かなメニューを提供するなど、飲食テントブースを拡充して食のイベントを実施した。



Photo(3点とも) : Shintaro Miyawaki

アートプロジェクト・イベント

- 瀬戸内国際芸術祭2025には、37の国と地域から222組の作家が参加した。
- 作品数は256、イベント数は25であった。

作品

直島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
na01	赤かばちゃ 草間彌生	○	○	○
na03	BUNRAKU PUPPET ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
na04	直島パヴァリオン 藤本壮介	○	○	○
na05-B	直島銭湯「♥湯」 大竹伸朗	○	○	○
na06-B	瀬戸内「 春、夏：瀬戸内「漂泊 家族」写真館 [建築]西沢大良(宮浦ギャラリー六区) 秋：瀬戸内「文化老人類学」資料館 [建築]能作文徳(へんこつ)	○	○	○
na07-B	The Naoshima Plan「水」 三分一博志	○	○	○
na10-B	ANDO MUSEUM 安藤忠雄	○	○	○
na11-B	家プロジェクト「角屋」 Sea of Time'98 / Naoshima's Counter Window / Changing Landscape 宮島達男	○	○	○
na12-B	家プロジェクト「護王神社」 Appropriate Proportion 杉本博司	○	○	○
na13-B	家プロジェクト「南寺」 バックサイド・オブ・ザ・ムーン ジェームズ・タレル	○	○	○
na14-B	家プロジェクト「基金会」 基金会 須田悦弘	○	○	○
na15-B	家プロジェクト「石橋」 ザ・フォールズ / 空(くう)の庭 千住博	○	○	○
na16-B	家プロジェクト「はいしゃ」 舌上夢 / ポッコン覗 大竹伸朗	○	○	○
na17-B	家プロジェクト「きんざ」 このことを 内藤礼	○	○	○
na19-B	ベネッセハウス ミュージアム [建築]安藤忠雄	○	○	○
na20-B	李禹煥美術館 [アート]李禹煥 [建築]安藤忠雄	○	○	○
na21-B	地中美術館 [建築]安藤忠雄 [アート]クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリア	○	○	○
na22	桜の迷宮 安藤忠雄	○	○	○
na24-B	杉本博司ギャラリー 時の回廊 [アート]杉本博司 [建築]安藤忠雄	○	○	○
na25-B	ヴァレーギャラリー ナルシスの庭 [アート]草間彌生 スラグブッド88 - 豊島の産業廃棄物処理後のスラグで作られた88体の仏 [アート]小沢剛 [建築]安藤忠雄	○	○	○
na26-1-B	Ring of Fire - ヤンの太陽 & ウィーラセタクンの月 Solar(昼) ヤン・ヘグユ	○	○	○
na26-2-B	Lunar(夜) ヤン・ヘグユ、アピチャッポン・ウィーラセタクン	○	○	○
na27-B	直島新美術館 [展示アーティスト]会田誠、マルタ・アティエンサ、蔡國強、Chim ↑ Pom from Smappa! Group、ヘリ・ドノ、インディゲリラ、村上隆、N・S・ハルシャ、サニタス・ブラディタスニー、下道基行 + ジェフリー・リム、ソ・ドホ、パナパン・ヨドマニー [建築]安藤忠雄		○	○

豊島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
te02-B	豊島横尾館 [全体コンセプト・アート]横尾忠則 [建築]永山祐子	○	○	○
te03-B	針工場 大竹伸朗	○	○	○
te08	空の粒子 / 唐櫃 青木野枝	○	○	○
te09	あなたの最初の色(私の頭の中の解(ソリューション) - 私の胃の中の溶液(ソリューション)) ピピロッチェ・リスト	○	○	○
te10	島キッチン	○	○	○
te12-B	ささやきの森 クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
te13-B	豊島美術館 母型 [アート]内藤礼 [建築]西沢立衛	○	○	○
te14	勝者はいない - マルチ・バスケットボール イオベット & ボンズ	○	○	○
te15-B	心臓音のアーカイブ クリスチャン・ボルタンスキー	○	○	○
te19	海を夢見る人々の場所 ヘザー・B・スワン + ノンダ・カサリディス	○	○	○
te21	再び言葉に満ちた部屋 ジェナ・リー	○	○	○
te22	国境を越えて・祈り リン・シュンロン [林舜龍]		○	○
te23	線の記憶 塩田千春	○	○	○

女木島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
mg01	カモメの駐車場 木村崇人	○	○	○
mg02	20世紀の回想 禿鷹墳上	○	○	○
mg06	[PJ]※ 小さなお店プロジェクト [ディレクション]原倫太郎 + 原游 ヘアサロン壽 宮永愛子	○	○	○
mg08	ビンボン・シー NEW! 原倫太郎 + 原游	○	○	○
mg09-B	ランドリー レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
mg20	ガラス漁具店 柳建太郎	○	○	○
mg28	休校書店 メコちゃん ザ・キャビンカンパニー	○	○	○
mg29	いのちの詩・あまのおと 柴田あゆみ	○	○	○
mg30	SUNSET TAILOR 思い出オーダーメイド 原游	○	○	○
mg31	ヨガ教室 - 瞑想するブランコ 転がる景色 - 中里繪魯洲	○	○	○
mg32	カフェ・サムシング サインズ 原田郁	○	○	○
mg13-B	女根 / めこん 大竹伸朗	○	○	○
mg14	ISLAND THEATRE MEGI「女木島名画座」 依田洋一朗	○	○	○
mg15-B	不在の存在 レアンドロ・エルリッヒ	○	○	○
mg17	段々の風 杉浦康益	○	○	○
mg19	オニノコ瓦プロジェクト2 オニノコプロダクション	○	○	○
mg26	こんぼうや 小谷元彦	○	○	○
mg27	ナビゲーションルーム ニコラ・ダロ	○	○	○
mg33	石は憶えている、そして私は耳を傾ける サラ・ハドソン	○	○	○
mg34	色彩の解釈と構造 ヤコブ・ダルグレン	○	○	○
mg35	磁場 クリスティアン・バステアンス + ローズマライン・バラント			○
mg36	女木島人口増加大計画～あなぐまち入居者募集中～ つん	○	○	○
mg37	生成するワールドローイング - 女木島・鬼ヶ島大洞窟壁画 村山悟郎	○	○	○

※[PJ]:プロジェクト名

男木島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
og01	男木島の魂 ジャム・プレサ	○	○	○
og02	タコツボル TEAM 男気	○	○	○
og03	生成するドローイングー日本家屋のために 2.0 村山悟郎	○	○	○
og05	男木島 路地壁画プロジェクト wallalley 眞壁陸二	○	○	○
og07	ドリームランド 川島猛とドリームフレンズ	○	○	○
og08	アキノリウム 松本秋則	○	○	○
og14	漆の家 漆の家プロジェクト	○	○	○
og15	部屋の中の部屋 大岩オスカル	○	○	○
og16	歩く方舟 山口啓介	○	○	○
og17	青空を夢見て レジーナ・シルベイラ	○	○	○
og18	男木島パビリオン 大岩オスカル+坂 茂	○	○	○
og21	男木島未来プロジェクト2125 男木島 麦と未来の資料館 昭和40年会	○	○	○
og22	ゆめうつつ〜ミライのワタシ 松井えり菜	○	○	○
og23	私たちの島 エミリー・ファイフ	○	○	○

小豆島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
sd01	太陽の贈り物 チェ・ジョンファ[崔正化]	○	○	○
sd02	対極の美ー無限に続く円ー コンノジュンコ	○	○	○
sd03	再び… キム・キョンミン[金景賢]	○	○	○
sd04	迷路のまち〜変幻自在の路地空間〜 目 [mé]	○	○	○
sd06	猪鹿垣の島 齋藤正人	○	○	○
sd11-1	自然の目「大地から」 フリオ・ゴヤ	○	○	○
sd11-2	舟物語 フリオ・ゴヤ	○	○	○
sd11-3	シマ動物プロジェクト フリオ・ゴヤ	○	○	○
sd19	山声洞 伊東敏光+広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd25	オリーブのリーゼント 清水久和	○	○	○
sd27	ジョルジュ・ギャラリー ジョルジュ・ルース	○	○	○
sd30	スター・アンガー ヤノベケンジ	○	○	○
sd31	アンガー・フロム・ザ・ボトム 美井戸神社 ビートたけし×ヤノベケンジ	○	○	○
sd32	漁師の夢 入江早耶	○	○	○
sd33	愛のポラード 清水久和	○	○	○
sd35	葦田パヴィリオン 西沢立衛	○	○	○
sd38	ダイナマイト・トラヴァース変奏曲 秩父前衛派	○	○	○
sd41	いっしょに／ともだち スタシス・エイドリゲヴィチウス	○	○	○
sd43	はじまりの刻 三宅之功	○	○	○
sd45	ヒトクサヤドカリ 尾身大輔	○	○	○
sd46-1	ダイダラウルトラボウ 伊東敏光+広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd46-2	ナップヴィナス 伊東敏光+広島市立大学芸術学部有志	○	○	○
sd49	Utopia dungeon ～ a Tale of a Time ～ 田中圭介	○	○	○
sd54	空の玉 / 寒霞溪 青木野枝	○	○	○
sd55	そこにいた イ・スークン[李秀京]	○	○	○
sd56	山 ソピアップ・ピッチ		○	○
sd57	うみのうつわ 長澤伸穂	○	○	○
sd58	黄金の海に消えた船 豊福亮	○	○	○
sd59	Reverberations 残響 ～ 岡八水車 岡淳+音楽水車プロジェクト	○	○	○

sd60	抱擁・小豆島 ワン・ウェンチャー [王文志]	○	○	○
sd61	New perspective 矢野恵利子	○	○	○
sd62	Inner Light -Floating Houseboat of Setouchi- 木戸龍介	○	○	○
sd63	「Journey of SHIP'S CAT 2025」瀬戸内をめぐるシブス・キャットの旅 ヤノベケンジ	○	○	○
sd64	ヤザイモン蛸 尾身大輔	○	○	○
sd65	[PJ] 瀬戸内アジアギャラリー特別企画展2025 CREATURE 2025 イ・ビョンチャン	○	○	○
	Flora Fauna パンクロック・スラップ	○	○	○
	風でつながるコミュニティ 安田葉	○	○	○
	There's no Place ジャグガイ・シリブート	○	○	○
	Where Do The Spirits Go? #6 ジョンベット・クスウィダナント	○	○	○
	西浦の塔 (OKタワー) ナウィン・ラワンチャイクン+ナウィン・プロダクション	○	○	○
	犬と狼の時間 ロ・マン			○

大島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
os01	青空水族館 田島征三	○	○	○
os02	森の小径 田島征三	○	○	○
os03	「Nさんの人生・大島七十年」-木製便器の部屋- 田島征三	○	○	○
os04	稀有の触手 やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os05	{つながりの家} GALLERY15 「海のこだま」 やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os06	歩みきたりて 山川冬樹	○	○	○
os07	海峡の歌 / Strait Songs 山川冬樹	○	○	○
os08-1	リングワンデルング (映像15分50秒) 鴻池朋子	○	○	○
os08-2	物語るテーブルランナーと指人形 in 大島青松園 鴻池朋子	○	○	○
os09	{つながりの家} カフェ・シヨル やさしい美術プロジェクト	○	○	○
os11	リングワンデルング 鴻池朋子	○	○	○
os14	枝と杖 (支えあうことのモニュメント) ニキータ・カダン		○	○
os15	結ばれて当たり前なる夫婦なりしよ 山川冬樹		○	○
os16	音と遠 梅田哲也		○	○

犬島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
in01-B	犬島「家プロジェクト」F邸 Biota (Fauna / Flora) [アート]名和晃平 [建築]妹島和世	○	○	○
in02-B	犬島「家プロジェクト」S邸 コンタクトレンズ [アート]荒神明香 [建築]妹島和世	○	○	○
in03-B	犬島「家プロジェクト」A邸 イエロー フラワー ドリーム [アート]ペアトリス・ミラーゼス [建築]妹島和世	○	○	○
in04-B	犬島「家プロジェクト」C邸 無題 (C邸の花) [アート]半田真規 [建築]妹島和世	○	○	○
in05-B	犬島「家プロジェクト」I邸 Self-loop [アート]オラファー・エリアソン [建築]妹島和世	○	○	○
in06-B	犬島「家プロジェクト」石職人の家跡 太古の声を聴くように、昨日の声を聴く / sprouting 01 [アート]浅井裕介 [建築]妹島和世	○	○	○
in07-B	犬島精錬所美術館 ヒーロー乾電池 [アート]柳幸典 [建築]三分一博志	○	○	○
in09-B	犬島 暮らしの植物園 妹島和世 + 明るい部屋	○	○	○
in10-1-B	INUJIMAアートランデブー フラワーフェアリーダンサーズ 大宮エリー	○	○	○
in10-2-B	INUJIMAアートランデブー 光と内省のフラワーベンチ 大宮エリー	○	○	○

高松港エリア

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
tk01	Liminal Air -core- 大巻伸嗣	○	○	○
tk03	「銀行家、看護師、探偵、弁護士」 ジュリアン・オビー	○	○	○
tk04	待つ人 / 内海さん 本間純	○	○	○
tk13	香川県立ミュージアム 企画展 春:高松城ー海にのぞむ城のものがたりー 夏:小沢剛の讃岐七不思議	○	○	○
tk14	高松市美術館 企画展 夏:石田尚志 絵と窓の間 秋:蒔醬 山下義人展		○	○
tk18	Watch Tower ジョン・クルメリング	○	○	○
tk19	ウェルカム / ファニーブルー ヴェロニック・ジュマール	○	○	○
tk20	四国村ミュージアム	○	○	○
tk23	屋島での夜の夢 保科豊巳	○	○	○
tk26	瀬戸内海歴史民俗資料館	○	○	○
tk27	[PJ] 高松港プロジェクト [建築]佐藤研吾 [アート]五十嵐靖晃	○	○	○
tk28	UNHCR × 瀬戸内国際芸術祭 ホンマタカシ「SONGSーものが語る難民の声」 ホンマタカシ	○	○	○
tk29	香川県立アリーナ(あなぶきアリーナ香川) [建築]妹島和世 + 西沢立衛 / SANAA	○	○	○
tk30-1	[PJ] ベトナムプロジェクト Cộng Moments~食と手仕事と雑貨のベトナムマルシェ~		○	
tk30-2	ベトナム現代美術展「共鳴のコレオグラフィー」		○	
tk31	[PJ] 屋島アートどうぶつ園ー海と森のむこうがわ 大地と海と空へ捧げる 安藤榮作	○	○	○
	アニマルストーリー 岡山富男	○	○	○
	手の考える世界 北川太郎	○	○	○
	空と海ー回遊する時空のはざま 芝田知明	○	○	○
	一期一会、瀬戸内海にて 土屋忠宣	○	○	○
	臨 -Rin- 西島雄志	○	○	○
	角材彫刻の白い動物達 前原正広	○	○	○
	七河豚神 森聖華	○	○	○
	いきもののかたち 森本諒子	○	○	○

宇野港エリア

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
un02	舟底の記憶 小沢敦志	○	○	○
un03	終点の先へ 小沢敦志	○	○	○
un04	宇野のチヌ / 宇野コチヌ 淀川テクニク	○	○	○
un05	JR宇野みなと線アートプロジェクト エステル・ストッカー	○	○	○
un08	海の記憶 内田晴之	○	○	○
un14-1	S.F.(Seaside Friction) 金氏徹平	○	○	○
un14-2	Model of Something 金氏徹平	○	○	○
un14-3	Hard Boiled Daydream(Miyama Park) 金氏徹平	○	○	○
un14-4	tower(UNO) 金氏徹平	○	○	○
un15	The Home プ・ジヒョン	○	○	○
un16	命の塩 SILT	○	○	○
un17	潮返 マフマドマフ	○	○	○

瀬戸大橋エリア

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
so01	階層・地層・層 ターニャ・プレミンガー
so10	八人九脚 藤本修三
so11	幻海をのぞく 南条嘉毅
so13	東山魁夷せとうち美術館 企画展「気配の力ー拡大する日本画 岡村桂三郎 新恵美佐子」
so14	[PJ] 瀬居島プロジェクト「SAY YES」 [ディレクション] 中崎透 Say-yo, chains, what do you bind or release? 中崎透
	永遠の庭、他 福田恵
	空気穴 伊藤誠
	見えるものと見えているもの 上村卓大
	いるもの 早川祐太
	一日の終わりに願うこと 五嶋英門
	その島のこと 安岐理加
	海を見る 山を見る 山本晶
	明日は静かな日 岩崎由実
	既知の道、未知の地 狩野哲郎
	津波石 下道基行
	自然の/と陳列 小瀬村真美
	アフリカの母子と闘う女の子 袴田京太郎
アーム 榎原泰介	
島の画家 小西紀行	
Next 保井智貴	
so15	オーチャード王越フットパス GREEN SPACE+ドットアーキテック

志度・津田エリア

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
st01	メブヤンのバランガイ(メブヤンの船または聖域) リーロイ・ニュー
st02	合成されし魂 ニール・メンドーザ
st03	風雷讃甚 やんツー
st04-1	Echoes as Air Flows 寛康明
st05	時間との対話 ケイトリン・RC・ブラウン & ウェイン・ギャレット

引田エリア

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
hk01	KASAYAソーシャル/パフォーマンス・スペース+アートワーク ラックス・メディア・コレクティブ
hk02	みんなの手 月まで届く手袋を編もう! レオニート・チシコフ
hk03	てぶくろくんのおはなし マリーナ・モスクヴィナ
hk04	積層される情報 沼田侑香(東京藝術大学×香川大学 瀬戸内海分校 まちづくりプロジェクトぐんだらけ)
	引田市井分解図 新居俊浩(東京藝術大学×香川大学 瀬戸内海分校 まちづくりプロジェクトぐんだらけ)
	奉納和船の出航ー「あまりものたち」の物神を、海に奉納する。 栗原寿行(東京藝術大学×香川大学 瀬戸内海分校 まちづくりプロジェクトぐんだらけ)

宇多津エリア

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
ut01	色のない翼の彼方 西澤利高
ut02	Capacity シガリット・ランダウ
ut03	時を紡ぐ 山本基
ut04	The Imperative Landscape(2025) ゼン・テー
st04-3	Echoes as Air Flows 寛康明(志度・津田にある寛作品の呼応作品)

本島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
ho01	Vertrek「出航」 石井章
ho05	漆喰・鏝絵かんばんプロジェクト 村尾かずこ
ho06	威臨の家 眞壁陸二
ho10	Moony Tunes ツェ・スーメイ
ho12	レボリューション／ワールドライズ アリシア・クヴァーデ
ho13	水の下の空 アレクサンドル・ポノマリョフ
ho14	無二の視点から 藤原史江
ho15	SETOUCHI STONE LAB 川島大幸
ho18	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 企画展 【4/12-7/6】猪熊弦一郎博覧会 【8/1-11/24】大竹伸朗展 網膜
ho19	ディスパッチ ジャッグアイ・シリブート
ho20	うみのえまつり コタケマン
ho21	House of Shadows(影の家) エカテリーナ・ムロムツェワ
st04-2	Echoes as Air Flows 寛康明(志度・津田にある寛作品の呼応作品)

高見島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
ta02	時のふる家 中島伽耶子
ta05	まなうらの景色2022 村田のぞみ
ta07	過日の同居 藤野裕美子
ta10	はなのこえ・こころのいる2025／除虫菊の家 小枝繁昭
ta13	～ melting dream ～／高見島パフェ 名もなき女性(ひと)達にささぐ… 西山美なコ
ta18	Merry Gates 内田晴之
ta22	エイリアンフード 島の外来種 EAT & ART TARO
ta23	[PJ] 高見島アートトレイル [ディレクション]BankART1929 土ヲ喰ム／星屑の子どもたち 浅井裕介
	The days when you said you were okay and the scene about the boat 泉桐子
	子音と海 橋本雅也
	Stepping stones of memory／Left things,letters 谷本真理
	おりおりる 保良雄
	鳥のための塔 中谷ミチコ+大室佑介
われらをめぐる海／家具 φ in 高見島／「高見島アートトレイル」をトレイルする BankART1929+PHスタジオ	

粟島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
aw01-1	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト ソコソコ想像所 日比野克彦
aw01-2	瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト Re-ing-A 日比野克彦
aw06	思考の輪郭 エステル・ストッカー
aw14	粟島の記憶を染める 柏木崇吾
aw15	航海する記憶の船ーノマドギャラリーin粟島 タオリグ・サリナ
aw16	帰り着く家ー瀬戸内粟島古家滞留積層脳海画像・2025 青野文昭
aw17	《ボーダレス》ベトナム移民の庭(No.11)灯台の庭／移民の庭の神殿 トゥアン・マミ
aw18	Awashima, Fall グエン・チン・ティ

伊吹島

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名
ib03	イリコ庵 みかんぐみ+明治大学学生
ib05	伊吹の樹 栗林隆
ib08	ものがみる夢 アレクサンドラ・コヴァレヴァ & 佐藤敬/KASA
ib11	最後の避難所 ブンポール・ポーティザン
ib12	反響 ジョンベット・クスウィダナント
ib13	西冥の魚 岡村桂三郎
ib14	野生の獲物 オラフ・ホルツアプフェル

広域

番号	施設名・プロジェクト名 作品名 作家名・団体名	春 会期	夏 会期	秋 会期
T01	フラワー ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
T02	ハッピーズネーク ジョゼ・デ・ギマランイス	○	○	○
T03	映画「海辺へ行く道」 横浜聡子		○	○

公式イベント

直島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E01	直島建築ツアー	5/12、5/19、10/6、10/14、10/20、10/27	46

豊島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E02	島のお誕生会	4/20、5/5、8/17、10/26	430

女木島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E03	女木島名画座上映会	4/29、8/16、10/25	73
E04	磁場 クリстіアン・バステアンス+ローズマライン・パラント	10/11、10/12	226

男木島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E05	素晴らしい偶然をむすんで きゅうかくうしお	8/8、8/9、8/10	396

小豆島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E06	NEO KAGURA Torus Vil.(トラスヴィレッジ)	5/24(雨天順延5/25)	145
E07	狂言・農村歌舞伎公演 in 棚田の里 野村太郎ほか狂言師、中山農村歌舞伎保存会	11/9	237

大島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E08	学ぶ!楽しむ!大島サマースクール	7/25、7/26、7/27	19
E09	瀬戸内物語～大島編～ 瀬戸内少女歌劇団	10/25、10/26 ※2回公演	201
E21	場踊り 田中泯	8/1、8/2	311

犬島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E10	INUJIMA アートランデブー 生きているということ 大宮エリー	11/1	47

高松港エリア

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E11	Sounding Light 雲門舞集	8/23	206
E12	瀬戸内仕事歌 & ～瀬戸内源平合戦絵巻～オペラ「扇の的」ダイジェスト版 香川大学「瀬戸内の伝統生活文化・芸術発信プロジェクトII」 若井健司	10/19	418
E13	シアターオペラ「その星には音がないー時計仕掛けの宇宙ー」 平田オリザ+中堀海都	10/4	323
E15	塩サミット 春トークイベント「塩と生命」	5/6	116

宇野港エリア

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E15	塩サミット 夏トークイベント「塩と芸術」	8/10	79

瀬戸大橋エリア

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E14	万葉茶会と講演～花の歌に耳をすませて～ 市民煎茶グループ 曙	4/20	450

志度・津田エリア

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E11	雲門舞集と踊ってみよう! 雲門舞集	8/24	120
E22	瀬戸内情景音頭を踊ろう! 山中カメラ	8/17	150

引田エリア

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E23	てぶくろのおはなし 南果歩	8/1、8/2	123
E24	攪拌歌 Torus Vil.(トラスヴィレヅ)	8/11	66

宇多津エリア

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E15	塩サミット	10/5	204

本島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E16	平家物語 REMASTER ホノ下裕一×西村和宏	11/1、11/2	282

伊吹島

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E17	Come and Go in 伊吹島 ひびのこづえ	10/18、10/19 ※10/18は2回公演	345
E18	よるしるべ2025	10/31、11/1、11/2、11/3	1,891

広域・回遊

番号	イベント名 作家名	開催日	来場者数
E19	せっぽくびすとるず瀬戸内神出鬼没 切腹ピストルズ	11/1、11/2、11/3、11/5、11/8、11/9 ※11/1は4回、11/2は10回、11/3は4回演奏	2,945
E20	瀬戸内アジアフォーラム2025	10/3、10/5 ※一般公開日	153
E25	瀬戸内エコー遺産アカベラライブ! 村松秀+近畿大学総合社会学部ゼミ生	10/4、10/11、10/12	138

- 各会場の地域資源を活かしたサイトスペシフィックなアート作品・プロジェクトの提案を募集するため、2023年11月に作品公募を実施し、国内外から638組725点の応募があった。作品公募に先立ち、応募検討者を対象に、2023年10月に新規3エリア等の現地見学会を実施した。
- 芸術祭参加作家の選考と並行して、地元自治会や団体等の協力を得ながら作品候補地の情報収集を行い、土地・家屋所有者との調整を行った。
- 2025年1月から、全会場を対象に住民説明会を順次開催し、芸術祭における作品展開について北川フラム総合ディレクター等による説明を行った。
- 作品制作期間中は、作家によるワークショップが各所で実施され、ボランティアサポーターの「こえび隊」に加え多くの地元の方々が参加し、作家との交流を行った。

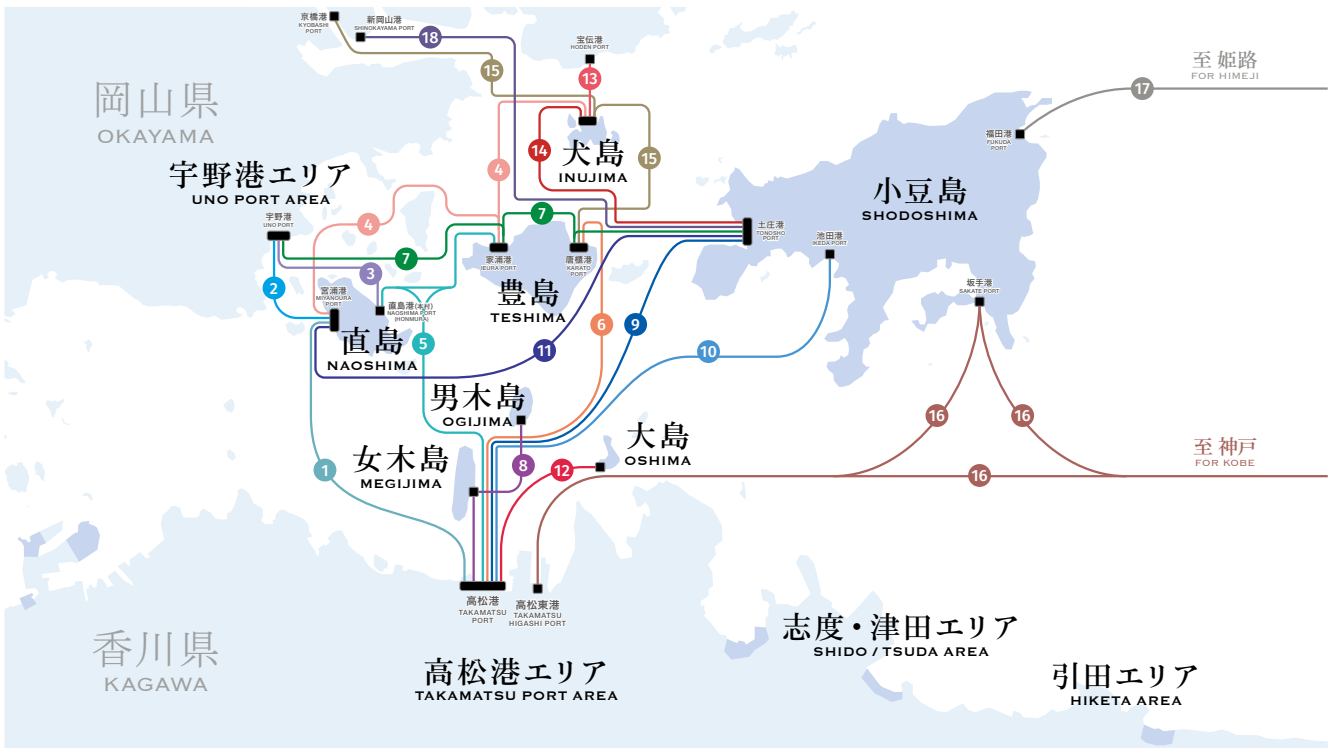
交通の整備

海上交通の整備

東のエリア

- ・来場者の交通アクセスを向上させるため、航路事業者の協力を得て、3つの臨時航路を開設するとともに、既存の3航路で増便を行った。
- ・期間中の乗船者の増加に対応するため、高松－女木島－男木島間では旅客定員を拡大し、高松－直島(宮浦)間、宇野－直島(宮浦)間、高松－豊島(家浦)間、高松－女木島－男木島間、宝伝－犬島間等では、来場者が多い日に臨時便を運航した。

東のエリアの航路図



臨時航路

運航区間	便数/日	前回2022の状況	運航事業者
小豆島(土庄) ⇄ 直島(宮浦)(※1)	2	2	小豆島急行フェリー(株)
小豆島(土庄) ⇄ 犬島(※1)	3	3	
京橋 ⇄ 犬島 ⇄ 豊島(唐櫃)(※2)	1	1	(株)岡山京橋クルーズ

(※1) 金土日祝のみ運航
 (※2) 犬島⇄豊島(唐櫃)間は2便/日、土日祝のみ運航

既存定期航路の増便

運航区間	会期中の便数/日	通常時(会期外)の便数/日	運航事業者
高松 ⇄ 直島(宮浦)	9(※1)	8	四国汽船(株)
高松 ⇄ 直島(本村) ⇄ 豊島(家浦)	7.5	5	(株)豊島フェリー
宇野 ⇄ 豊島(家浦) ⇄ 豊島(唐櫃) ⇄ 小豆島(土庄)	10(※2)	9	小豆島豊島フェリー(株)

(※1) 土日祝のみ高速船を増便
 (※2) 土日祝月のみ高速船を増便

西のエリア(秋会期のみ)

- 航路事業者の協力を得て、本島、高見島、粟島を結ぶ臨時航路を開設するとともに、既存の4航路で増便を行った。
- 期間中の乗船者増加に対応するため、丸亀－本島間では旅客定員を拡大し、丸亀－本島間、児島－本島間、多度津－高見島間、須田－粟島間、観音寺－伊吹島間では、来場者が多い日に臨時便を運航した。

西のエリアの航路図



臨時航路

運航区間	便数/日	2022秋会期の状況	運航事業者
本島 ⇄ 高見島 ⇄ 粟島	6	6(※)	にじ観光(有)

(※)平日5便/日、土日祝6便/日、土日祝は臨時便を3便運航(定期便と合わせて最大9便/日)

既存定期航路の増便

運航区間	会期中の便数/日	通常時の便数/日	運航事業者
丸亀 ⇄ 本島	10	8	本島汽船(株)
児島 ⇄ 本島	6	4	むくじ丸海運(有)
多度津 ⇄ 高見島	5	4	たどつ汽船(株)
観音寺 ⇄ 伊吹島	8	5	(株)真鍋海運

陸上交通の整備

各エリアやエリア間の来場者の移動手段を強化するため、市町等と協力して、13エリアにおいて16のバス路線で新設や既存バス路線の増便を行った。

直島では、今回新たに芸術祭特急バスを運行し、来場者の増加に対応した。

主要な新設・増便

運行区間		便数/1日	通常時(会期外)の便数/日
新設	1 直島 芸術祭特急バス 宮浦⇄地中美術館など	22便	—
	2 小豆島 土庄港⇄池田港ターミナル(西ルート)	4便	—
	3 小豆島 池田港ターミナル⇄映画村(東ルート)	4便	—
	4 宇野港 宇野駅⇄みやま公園など	7便	—
	5 瀬戸大橋エリア 坂出駅⇄沙弥島⇄瀬居島	往路11便/復路14便	—
	6 志度・津田エリア エリア内を巡回	3便	—
	7 エリア間シャトルバス 津田案内所⇄つばさ交流センター	6便(土日祝)	—
	8 広域巡回バス 丸亀港⇄多度津港⇄宇多津エリア	5便	—
	9 宇多津エリア 宇多津駅⇄宇多津町役場⇄臨海公園	18便	—
	10 多度津 多度津駅⇄多度津港	随時運行	—
	11 三豊 詫間駅⇄須田港⇄臨時駐車場	随時運行	—
	12 観音寺 観音寺港⇄臨時駐車場	随時運行	—
増便	13 直島 宮浦港⇄農協前つつじ荘方面	随時増便	25便
	14 豊島 家浦⇄唐櫃	28便	7便
	15 豊島 家浦⇄甲生	12便	4便
	16 犬島アクセスバス 岡山駅⇄宝伝港	2便(土日祝のみ)	1便

交通企画チケットの販売等

来場者の利便性の向上や混雑緩和を図るため、公式アプリを活用したデジタルチケットとしてフェリー6航路3日間乗り放題券、バスの1日乗り放題券を4エリアで販売したほか、直島の芸術祭特急バスにおいてキャッシュレス決済を導入した。

交通企画チケット販売状況

券種	料金(大人)	春会期	夏会期	秋会期	合計
フェリー6航路3日間乗り放題券	2,600円	3,836枚	3,718枚	8,657枚	16,211枚
小豆島島内バス1日乗車券	2,000円	1,395枚	1,083枚	2,643枚	5,121枚
豊島島内バス1日乗車券	1,500円	2,531枚	2,283枚	4,107枚	8,921枚
瀬戸大橋&坂出バス1日乗車券	1,300円	1,716枚	—	—	1,716枚
本島&丸亀バス1日乗車券	400円	—	—	1,341枚	1,341枚

来場者対応

案内所の運営

- 開幕前の2025年2月から開幕まで、実行委員会事務局内に案内所本部を設置し、多言語対応のコールセンターとして、電話やメールによる様々な問合せに対応した。
- 会期中は、各会場の港などに計29カ所の案内所を設け、作品やイベント、交通に関する案内、作品鑑賞パスポートや公式グッズの販売などを行った。最も多くの来場者が訪れる高松港の案内所を「瀬戸内国際芸術祭総合案内所」としたほか、より来場者の動線に近い高松港フェリー乗り場近くに「高松港コリドー案内所」を設置し、対応を強化した。
- 各港周辺では、案内スタッフや警備員が乗り場案内や乗船整列を行った。
- 案内所には、救急セットや熱中症対策用具を配備して、緊急の場合に対応したほか、無料貸出用の車いすを配備した。



案内所本部



高松港コリドー案内所



会場における案内の様子

公式アプリ、公式ウェブサイトの活用

- 芸術祭2022では、経路検索機能を搭載した公式アプリとデジタルパスポート(電子チケット)の2つのアプリが併存していたことから、今回これらのアプリを統一して無料公開し、来場者の周遊をサポートした。
- 公式アプリでは、電子チケットとして、作品鑑賞パスポート、各種交通企画チケット(船・バス)、イベントチケットを販売した。
- 2024年10月24日に公式アプリの配信を開始して以降、新規ダウンロード数は、秋会期終了の2025年11月9日時点で103,897件(iOS版 91,927件・Android版 11,970件)と、芸術祭2022秋会期終了時点(37,425件)と比べて277.6%となり、過去最多となった。そのうち海外が44%を占めた。



公式アプリダウンロード国・地域別割合

日本	中国	台湾	香港	アメリカ合衆国	オーストラリア	韓国	イギリス
56.0%	13.5%	14.1%	4.0%	3.8%	1.2%	1.0%	0.9%

- 来場者があらかじめ作品・施設の休館や混雑状況、船の欠航などを知ることができるよう、公式ウェブサイトと公式アプリを活用してリアルタイムに情報提供を行った。

各種交通企画チケット

- 来場者の利便性向上や混雑緩和を図るため、瀬戸内国際芸術祭2025公式アプリから購入できる、フェリー6航路限定の3日間乗り放題デジタル乗船券やバスの乗り放題券(一部路線)を販売した。(詳細は、9. 交通の整備を参照)

熱中症対策

- 夏会期の新規会場である志度・津田エリア及び引田エリアは21時まで開館し、暑さの和らいだ日没後にも作品鑑賞を可能とした。
- 来場者が暑さ対策をしたうえで来場できるよう、公式ウェブサイト、公式アプリケーション等にて注意喚起を行った。
- 高松港での給水機、ミストファンの設置に加え、待ち時間が長くなりやすい港、バス停、作品受付等にて日傘の貸出しを行ったほか、特に暑さの厳しい会場に氷柱を設置した。
- ボランティアスタッフ等に冷凍した飲料を配布した。
- 熱中症の疑いがある方に適切に対応できるよう、対策用品や休憩所を準備したほか、案内スタッフへ事前研修を実施した。
- 案内所本部に配置した看護師が、緊急時には各案内所スタッフに応急処置を指示して近隣の医療機関等に引き継ぐ体制を構築し、疑い事例発生時には、連携して対応に当たった。



混雑対策

- 来場者の平準化を図るため、「混雑予想カレンダー」を2024年11月から公式ウェブサイトで公開した。
- 混雑が想定される航路や、島内の交通手段が限られる島において、事業者の協力を得て、増便等の対応を行い、輸送力の増強を図った。
- 会期中の全エリアの混雑状況を反映したリアルタイムの「混雑状況マップ」や「明日の混雑予想」を公式ウェブサイトで公開し、来場者への情報提供を行った。
- 公式アプリケーションのプッシュ通知により、混雑の激しい会場・航路を周知し、来場に当たっての注意喚起を行った。
- 手荷物の船舶等への持込を抑制するため、高松港等にはコインロッカーを増設し、手荷物預かりサービスも実施した。

巡り方のコツ、島・会場ごとの注意事項

- 芸術祭の巡り方のコツをまとめた「芸術祭巡りの心得」を公式ガイドブック、公式ウェブサイト、公式アプリ等で公開した。
- 会場となる島・エリアごとに異なる環境や事前準備等をまとめた「島・会場ごとの注意事項」を公式ウェブサイトや公式アプリケーションで公開し、来場者に注意を促した。
- 港へのアクセスや芸術祭巡りのコツを紹介する動画を多言語で製作し、公式ウェブサイト上で公開した。

公式ツアー、カスタマイズツアー

公式ツアー

チャーター船やチャーターバスを利用し、芸術祭の会場を巡る9コースのツアー(周遊・テーマツアー)を74回、公式イベントに参加するツアー(イベント参加ツアー)を14回実施した。

周遊・テーマツアー一覧

コース名	対象会場	料金(1人当たり)
〈小豆島〉必見!アジアのアート探訪の旅	小豆島	14,900円～15,900円
〈小豆島〉満喫!里山と岬をめぐる旅	小豆島	14,900円～15,900円
〈大島〉アートを道標(みちしるべ)にハンセン病を学ぶ旅(春・秋会期のみ)	大島	16,800円
〈瀬戸大橋エリア〉春限定!瀬居島と五色台周辺満喫の旅(春会期のみ)	瀬戸大橋エリア	11,800円
〈志度、津田、引田〉夏の東エリア満喫の旅(午前出発)(夏会期のみ)	志度・津田エリア、引田エリア	12,900円
〈志度、津田、引田〉夏の東エリア満喫の旅(午後出発)(夏会期のみ)	志度・津田エリア、引田エリア	12,900円
〈宇多津・本島〉秋の新エリア・宇多津&塩飽諸島の中心・本島をめぐる魅力発見の旅(秋会期のみ)	宇多津エリア、本島	19,800円
〈宇多津・高見島〉新発見!秋の新エリア・宇多津&高見島をめぐる旅(秋会期のみ)	宇多津エリア、高見島	19,800円
〈伊吹島・粟島〉秋の西エリア・伊吹島&粟島をめぐる満喫の旅(秋会期のみ)	伊吹島・粟島	21,800円

※春会期はイベント参加ツアーの「小豆島×Torus Vil.(トラスヴィレッジ)／NEO KAGURA(5/24)」が荒天によるイベント中止に伴いツアーが中止となったほか、秋会期は周遊・テーマツアーが荒天により2回(11/1及び11/2)中止となった。

参加者数

会期	本数	定員	参加者	参加率
春	27本	1,029人	894人	86.8%
夏	25本	886人	525人	59.2%
秋	36本	1,350人	881人	65.2%
合計	88本	3,265人	2,300人	70.4%

- 男女別では、女性が76.9%、男性が23.1%であった。
- 60代の参加者が29.7%で一番多く、次いで50代の参加者が28.9%が多かった。
- 参加者の国内・海外比率では、国内が87.2%、海外が12.8%であった。国内の都道府県別では、香川県からが49.8%、次いで東京都からが13.9%であった。海外の国・地域別では、台湾からが50.0%、香港からが18.4%、次いで中国からが14.5%であった。
- 公式ツアーの評価として、参加者の76.5%が「満足」、18.7%が「やや満足」と評価した。



カスタマイズツアー

特定非営利活動法人瀬戸内こえびネットワークが主体となり、瀬戸内国際芸術祭事業、関係者の視察・研修など、旅行者の希望に応じた旅の企画、手配、ガイドを行うカスタマイズツアーを86回、150日実施し、延べ2,720人が参加した。ツアーの参加目的は、芸術祭関係が38%、視察・研修が36%、観光が26%であった。

ボランティアサポーターの活動

- アーティストと地域を繋ぎ、作品と来場者を結ぶ役割を果たす瀬戸内国際芸術祭のサポーターの「こえび隊」、「企業・団体サポーター」、「地元・個人サポーター」として多くの人が作品受付や制作等に携わり、参加者の総数は延べ9,970人となった。
- コロナ禍であった前回と比べ、アジアを中心とした国外からの参加者が多く、国内からの参加者と工夫してコミュニケーションをとりながら活動に臨む姿が見られた。

瀬戸内国際芸術祭2025 ボランティアサポーター参加実績

集計期間：2024年12月～2025年12月(会期前後の作品制作、撤去、イベント等含む)

参加数		春会期	夏会期	秋会期	計
こえび隊					
内訳	作品制作	787人	543人	515人	1,845人
	作品受付	1,475人	1,423人	1,498人	4,396人
	イベント運営	30人	214人	237人	481人
参加者数		2,292人	2,180人	2,250人	6,722人
企業・団体サポーター					
参加企業・団体数		—	—	—	100社/団体
参加者数		737人	574人	1,249人	2,560人
地元・個人サポーター					
参加者数		54人	169人	465人	688人
サポーター総数		3,083人	2,923人	3,964人	9,970人

(参加人数は延べ数)



朝礼の様子(高松港)



作品受付の様子(男木島)

こえび隊

- 作品制作、作品受付やイベント運営補助、閉幕後の作品撤去に、延べ9,970人(実数1,355人)が参加した。
- 1,355人のうち、約15%は国外からの参加者であった。中国、台湾、香港、アメリカ、オーストラリア、シンガポール、フランス、カナダ、イギリス、イスラエル、韓国など、世界20の国と地域からの参加があった。
- 中でも、台湾や中国、香港をはじめとしたアジアの国や地域からの参加者は国外参加者の8割を超えた。
- 遠方からの参加者が、宿泊しながら長期にわたり活動することができるよう、高松市内に「こえび寮」を開設した。2025年3月から11月までの8カ月間で、延べ3,164人が利用した。
- 芸術祭の趣旨やこえび隊の活動内容について説明し、新たな参加者を募る「こえびミーティング」について、オンラインを活用しながら5回開催したほか、秋会期前には宇多津町、丸亀市、三豊市の3カ所でボランティア説明会を実施した。

企業・団体ボランティアサポーター

- 地域貢献や社員教育などの観点から、企業や学校を中心として、100社・団体、延べ2,560人が、作品受付などの活動を行った。
- 香川県内の参加は、県内に本社・本部を置く企業・団体が52、各種学校が12であった。
- 参加者からは「島の空気を味わいながら、作品と景色とが一体化した世界に一日浸る、貴重な体験ができた」、「来場者や地域の方との交流を通じて自分自身の視野も広がり、とてもやりがいがあった。」などの声が聞かれた。

地元、個人サポーター

- 初開催のエリアを中心に市町独自のボランティアサポーターとして、地域住民の方が作品受付などの活動に参加した。
- 地域の地理や暮らしに精通している強みを活かし、作品の案内とともに島・エリアの魅力を来場者に伝えることで、芸術祭を盛り上げた。

参加団体一覧（50音順）

株式会社IHI | 穴吹エンタープライズ株式会社 | 学校法人穴吹学園専門学校穴吹ビジネスカレッジ | 株式会社穴吹工務店 |
石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町 | 株式会社イトーキ 四国支店 | うたづの町家とおひなさん実行委員会 | 海はたる隊 |
NTT西日本株式会社 香川支店 | 大倉工業株式会社 | 大阪産業大学校友会 香川県支部 | 大手前丸亀中学・高等学校 | 株式会社香川銀行 |
一般社団法人香川県産業廃棄物協会女性部 | 香川県職員退職者会 | 香川県信用組合 | 一般社団法人香川県婦人団体連絡協議会 |
香川県立坂出商業高等学校 会計ビジネスコース | 香川県立多度津高等学校 | 香川高等専門学校詫間キャンパス | 国立大学法人香川大学 | 香川短期大学 |
鹿島建設株式会社 | 株式会社金丸工務店 | 川崎重工業株式会社 | カワサキモータース株式会社 | 川田工業株式会社 | 観音寺市国際交流協会 |
観音寺市ボランティア連絡協議会 | 観音寺信用金庫 | 株式会社北四国グラフィア印刷 | キャスコ株式会社 | 倉敷芸術科学大学 | 株式会社廣榮堂 |
国際ソロプチミスト坂出 | 金剛禅総本山少林寺 | 坂出交通安全協会 | 坂出市建設業協会 | 坂出シニアライオンズクラブ | 坂出市連合自治会 | さぬき市連合自治会 |
JA香川県 | しおはまの湯四国健康村 | 四国運輸局職員有志 | 四国学院大学香川西高等学校 | 四国化成ホールディングス株式会社 |
四国計測工業株式会社 | 四国財務局職員有志 | 四国水族館 | 四国電力株式会社 | 四国電力送配電株式会社 | 一般社団法人SHORINJI KEMPO UNITY |
一般財団法人少林寺拳法連盟 | 伸興電線株式会社 | 株式会社菅組 | 公益財団法人瀬戸大橋記念公園管理協会 | 第一生命保険株式会社 東四国支社 |
株式会社ダイナム | 高松信用金庫 | 高松大学・高松短期大学 | 高松帝酸株式会社 | 多度津町議会 | 社会福祉法人多度津町社会福祉協議会 |
公益社団法人多度津町シルバー人材センター | 公益財団法人多度津町文化体育振興事業団 | 社会福祉法人多度津福祉会特別養護老人ホーム桃陵苑 |
玉野市立玉野商工高等学校 | 玉野・灘崎こども劇場 | TSUTAYA | 株式会社東芝 四国支社 | 徳島文理大学 | 株式会社トヨタレンタリース岡山 | 仁尾興産株式会社 |
日本たばこ産業株式会社 香川支社 | 日本郵便株式会社 | 野村證券株式会社 | 株式会社ハースト婦人画報社 | ばいこう堂株式会社 |
一般財団法人阪大微生物病研究会 | 番の州6社会 | 東かがわトヨタ自動車販売同業会 | 株式会社百十四銀行 | 富士建設株式会社 |
株式会社ベネッセコーポレーション | 株式会社三井住友銀行 | 三井不動産株式会社 | 三菱ケミカル株式会社 香川事業所 | 三菱地所株式会社 |
三菱電機株式会社 四国支社 | 三豊市職員OB有志 | 三豊市職員有志 | ライフデザイン・カバヤ株式会社 | 税理士法人六条 | YKK AP株式会社

13

広報

企画発表会

- 東京において、メディア、旅行者、協賛企業、行政関係者等を対象に企画発表を行った。
- 東京の企画発表会では、会場内ラウンジで新エリア紹介などの展示ブースを設け、レセプション会場として使用した。また、その後1カ月程度展示を行った。

日程	場所	名称等	内容	参加者
2024/10/24	東京ミッドタウン八重洲 カンファレンス	瀬戸内国際芸術祭2025企画発表会	企画概要発表(作品、作家、作品鑑賞パスポート、オフィシャルツアー等紹介)/懇親会	270名
2024/11/20	株式会社ベネッセコーポレーション本社 大ホール	瀬戸内国際芸術祭2025岡山説明会	企画概要発表(作品、作家、作品鑑賞パスポート、オフィシャルツアー、岡山関連情報等紹介)	179名



企画発表会



企画発表会(レセプション)

Photo(3点とも): Shintaro Miyawaki

プロモーション活動

国内外に向けて幅広いプロモーション活動を展開した。国内では東京や大阪などの主要都市を中心に、芸術・文化・地域振興に関心のある層や新規層への情報発信を強化。大阪・関西万博などの大規模イベントや、香川県立アリーナなど県内施設でのプロモーションも積極的に行った。海外では瀬戸内地域への関心や訪日外国人旅行者来訪増加を踏まえ、香川県観光協会と連携し、直行便のあるアジア各国で旅行博やセミナーを実施し、新たな層への認知度向上と来訪促進を図った。

国内向け

日程	地域	場所	名称等	内容
2024/12/7	東京都	無印良品銀座店	つながる市瀬戸内 MUJI BASE TESHIMA 編	作品鑑賞パスポート及び公式グッズの販売、PR動画等
2025/3/15-16	香川県	香川県立アリーナ (あなぶきアリーナ香川)	みんなのアリーナ体感デー	作品鑑賞パスポート及び公式グッズの販売、PR動画等
2025/3/29-5/25	香川県	高松市美術館	デザインでたどる瀬戸内国際芸術祭 15年の歩み	歴代公式ポスター、チラシ、グッズ展示
2025/4/27	大阪府	JR大阪駅ルクア大阪	Nishi Nippon ARTrail 2025年 春会期	瀬戸内国際芸術祭と地域の魅力を再発見するトークイベント
2025/4/30-5/3	大阪府	大阪・関西万博「EXPOメッセ」	香川県自治体催事	大型パネル展示、PR動画等
2025/5/24-25	香川県	香川県立アリーナ	食の大博覧会	作品鑑賞パスポート、公式グッズ販売等
2025/7/19-21	東京都	丸ビル1F「マルキューブ」	ワークショップ「そらあみを編もう」 in 東京丸の内	作品制作ワークショップ、さぬき市、東かがわ市等の物産展を開催、タブロイド配布等
2025/9/15	大阪府	JR大阪駅ルクア大阪	Nishi Nippon ARTrail 2025年 秋会期	瀬戸内国際芸術祭と地域の魅力を再発見するトークイベント
2025/9/15	香川県	サンポート高松 高松シンボルタワー	かがわスタートアップフェスタ2025	公式グッズ販売、チラシ設置
2025/9/26-29	大阪府	万博会場内「ギャラリーWEST」	「アートする里海KAGAWA」	大型パネル展示、ノベルティグッズ配布、チラシ設置
2025/9/27-29	大阪府	大阪・万博会場内 「関西パビリオン内多目的エリア」	「ひょうごフレンドシップウィーク」	クイズ出題、公式グッズ販売、チラシ設置

日程	国／地域	名称等	内容
2024/1/22	東京都	日本外国特派員協会でのトークイベント	トークイベント、パネル展示
2024/6/13-16	香港	香港国際旅行展示会(ITE2024)	PRブース設置、BtoB商談会、セミナー実施
2024/9/26-28	東京都	ツーリズムEXPO(VISIT JAPAN トラベル&MICEマート)	BtoB商談会
2024/10/4-6	韓国	韓国Travel Show 2024	PRブース設置、チラシ設置
2024/10/31-11/4	台湾	台北国際旅行博(ITF2024)	PRブース設置、チラシ設置、セミナー実施
2024/12/20	台湾	台湾旅行エージェンツ向けオンライン説明会	オンラインBtoBセミナー実施
2025/2/24-25	台湾	香川県台湾商談会でのプロモーション及び瀬戸芸セミナーの開催	BtoB商談会、セミナー実施
2025/3/22	香港	香港での瀬戸芸セミナーの開催	セミナー実施
2025/3/26	韓国	ソウル市立美術館での瀬戸芸セミナーの開催	セミナー実施
2025/4/3	東京都	日本外国特派員協会での瀬戸内国際芸術祭トークイベント	トークイベント
2025/5/5	中国	中国向け瀬戸芸セミナーの開催(オンライン)	セミナー実施
2025/6/22-23	中国	蘇州・上海での瀬戸芸セミナーの開催	セミナー実施、公式グッズ販売
2025/6/24-25	台湾	台中・台北での瀬戸芸セミナーの開催	セミナー実施
2025/6/28	中国	深圳での瀬戸芸セミナーの開催	セミナー実施
2025/7/21	香港	香港での瀬戸芸セミナーの開催	セミナー実施



ワークショップ「そらあみを編もう」



大阪・関西万博への出展



深圳瀬戸芸セミナー

プレスプレビュー

- 春、夏、秋の各会期の開幕前に、報道関係者向けのプレストアーを実施した。
- 会期中に追加になる新作(直島新美術館等)は、ツアー日程の前後で追加自由取材日を設けた。

	会期	コース	催行日	行き先	発着	参加者
ツアー	春	A	2025/4/15	瀬戸大橋エリア→高松港プロジェクト(そらあみ合体式)→屋島	高松港	49
		B	2025/4/16	小豆島→豊島→宇野港エリア		37
		C		大島→直島→犬島		31
	夏	A	2025/7/31	大島→志度・津田エリア→引田エリア→ベトナムプロジェクト		42
	秋	A	2025/9/30	高見島→本島→宇多津エリア		21
		B	2025/10/1	伊吹島→粟島		25
自由取材						39
追加自由取材	夏		2025/7/30	直島新美術館(直島)、リン・シュンロン(豊島)		34
	秋		2025/10/2	瀬戸内「 」資料館(直島)		6
合計(延べ)						284

※1コースにつき、1社あたり2名までの参加とした。

※春Aコースは女木島、男木島を予定していたが、荒天により行先を変更して実施。内覧できなかった男木島、女木島の作品は翌17日に自由取材を実施した。



そらあみ合体式取材(高松港)



アーティストインタビューの様子(写真はニキータ・カダン氏/大島)

Photo(2点とも) : Shintaro Miyawaki

広報制作物

- グラフィックデザイナー原研哉のディレクションのもと、ポスターやリーフレットなどの印刷物、のぼりや横断幕などの広告物、クリアファイルやピンバッジなどのノベルティグッズを制作した。
- ポスター(約9,200枚)およびリーフレット(約152,000枚)は、公共機関や全国的美術館、学校等に掲出・配布を依頼。さらに、のぼりや横断幕は港湾施設や船舶、展示作品の周辺などに掲出した。



のぼり

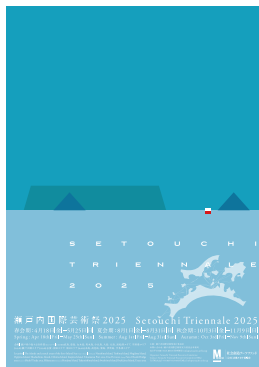


横断幕

Photo(3点とも) : Shintaro Miyawaki



先行ビジュアルポスター・チラシ



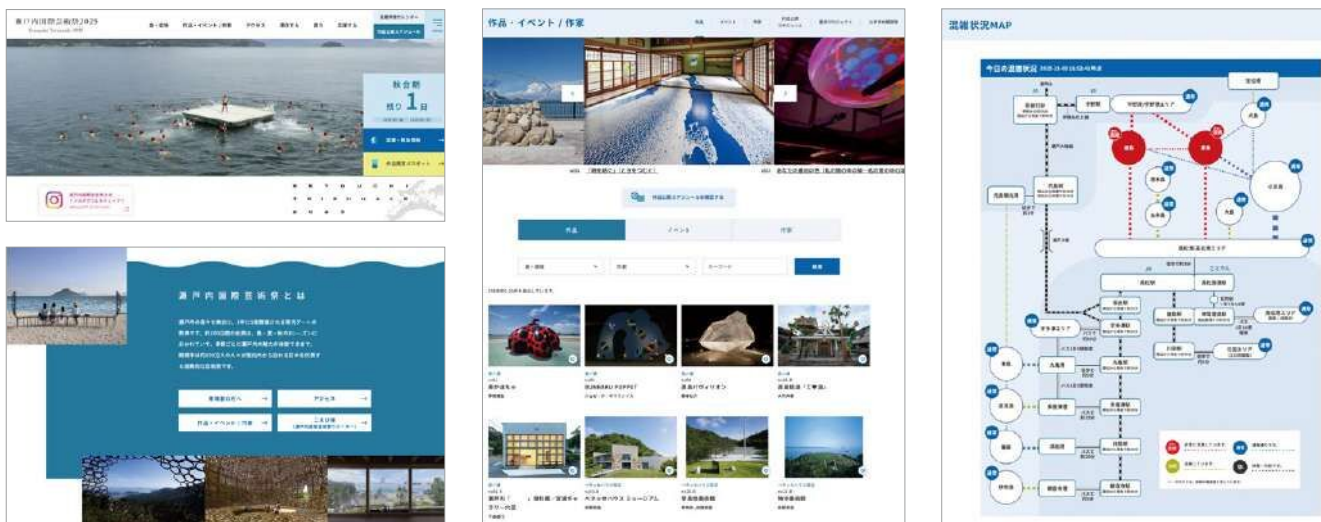
メインビジュアルポスター



メインビジュアルリーフレット(通期版・会期版)

公式ウェブサイト

- 公式ウェブサイトは、2024年10月24日の企画発表会にあわせて全面リニューアルを行い、情報の集約拠点として、5言語（日・英・中（簡体字・繁体字）・韓）で発信した。
- 全面リニューアルでは、機能性・デザイン性の両立、利用者に必要な情報の整理・充実を強化し、利用者の多いスマートフォンでの操作性を高めた。
- 特に重要な混雑対策として、従来の混雑予想カレンダーに加え、リアルタイムの混雑情報の提供及び混雑状況マップ表示を実装した。
- 公式アプリと連携させ、混雑情報に加え、作品・施設の休館や船の欠航等の緊急情報もタイムリーに配信した。



- 2024年10月24日から2025年11月9日までに、188の国と地域から、2,431,434ユーザー*1からのアクセスがあった（2022年比157.1%、過去最多）。同期間のセッション数*2は4,887,706件、表示回数*3は19,407,762件であった。

*1 Google Analyticsにより解析したウェブサイトへの訪問者数。期間内に同一ユーザーが何度アクセスしても1件と数える。

*2 Google Analyticsにより解析した「延べ何回ウェブサイトが訪問されたか」を示す数字である。

*3 Google Analyticsにより解析した「ユーザーがウェブサイトの個々の画面を閲覧した回数」を示す数字である。

- 79.2%が国内からアクセスしたユーザーで、残りの20.8%（1,547,874件）が海外のユーザーであった。1日で最もアクセス数（ユーザー数）が多かったのは、開幕日の4月18日の27,140件であった。

順位	国名	ユーザー数	割合
1	日本	1,924,918	79.2%
2	台湾	218,686	9.0%
3	中国	66,216	2.7%
4	香港	55,550	2.3%
5	アメリカ合衆国	52,840	2.2%
6	韓国	30,110	1.2%
7	シンガポール	28,662	1.2%
8	オーストラリア	26,427	1.1%
9	イギリス	8,597	0.4%
10	フランス	7,348	0.3%

順位	表示回数の多いページ	表示回数
1	作品	2,810,165
2	作品公開スケジュール	855,663
3	作品鑑賞パスポート	665,145
4	島・会場	511,949
5	混雑予想カレンダー	508,617
6	作品（繁体字）	472,889
7	混雑・緊急情報	458,925
8	開催日程	423,348
9	各島・各エリアへ	396,012
10	イベント	261,864

公式Instagram(インスタグラム)

- 作品の紹介やイベント告知、島エリアの休日情報だけでなく、瀬戸内の魅力(景観、歴史、文化、自然、産業、食など)の総合的な発信につながるよう強化した。トップ画面のサムネイルに合わせた縦長写真を基本とし、動画配信も行った。
- フォロワー数は、閉幕の2025年11月9日時点で108,037人となり、2022閉幕時点の61,424人を上回った(1.76倍)。

人気投票Best3



No.1

【本日開幕】瀬戸内国際芸術祭 2025
(いいね!数 約1万件)



No.2

【公式ガイドブック】本日発売
(いいね!数 約8,200件)



No.3

【新作紹介 #豊島 | リン・シュンロン】
(いいね!数 約6,000件)

Facebook(フェイスブック)

- Instagramとシステム統合したことで、Instagramの投稿が自動でFacebook記事として投稿され、作品や瀬戸内の美しさ・楽しさ・面白さを総合的に配信した。
- フォロワー数は、2025年11月9日時点で66,528人となり、2022閉幕時点の62,106人を上回った(1.07倍)。

X(エックス)

- 即時性の高さや拡散力が高い特徴を利用して、InstagramやFacebookと同様にタイムリーに情報発信した。船の欠航や作品・施設の休館情報発信には、船会社やベネッセアートサイト直島の投稿をリポストするなど、積極的に注意喚起した。
- フォロワー数は、2025年11月9日時点で41,454人となり、2022閉幕時点の38,507人を上回った(約1.08倍)。

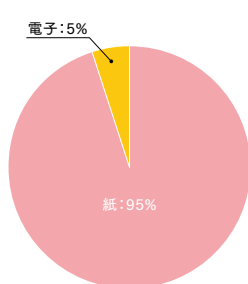
公式ガイドブック

作品、イベント、地図、交通情報などを掲載した公式ガイドブックを発行した(日本語版のみ)。

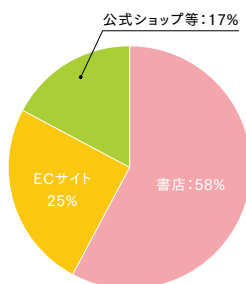
本体価格:1,650円(税込)

発行部数(紙媒体):52,000部

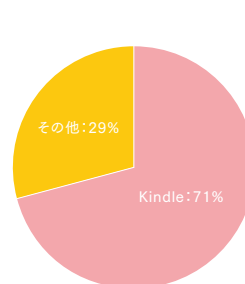
発売日:2025年3月18日(電子版)/2025年3月24日(紙媒体)



紙・電子媒体 販売状況



紙媒体販売 内訳



電子媒体販売 内訳



新聞・雑誌・ラジオ

媒体名	掲載日	サイズ等	内容
四国新聞	2025/4/4	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、混雑予想カレンダー、公式アプリ
	2025/4/18	ラッピング60段カラー	メインビジュアル、作品、作品鑑賞パスポート、公式アプリ、公式ガイドブック、公式ツアー
	2025/7/18	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、公式ツアー、ベトナムプロジェクト、公式グッズ
	2025/8/1	大型突出カラー	作品、夏会期新規エリア、ベトナムプロジェクト
	2025/9/19	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、宇多津エリア・塩サミット、イベント情報
山陽新聞	2025/4/12	記事下全5段カラー	作品鑑賞パスポート、混雑予想カレンダー、公式アプリ
	2025/4/25	記事下半5段カラー	オフィシャルツアー、公式ガイドブック、こえび隊募集
	2025/8/8	記事下半5段カラー	イベント情報、ベトナムプロジェクト、公式アプリ、こえび隊募集
	2025/10/10	記事下半5段カラー	宇多津エリア、イベント情報、作品鑑賞パスポート、こえび隊募集
タウン情報 おかやま	2025/3/25	2ページ	メインビジュアル、作品、作品鑑賞パスポート、公式ツアー、こえび隊募集
	2025/7/25	2ページ	メインビジュアル、作品、作品鑑賞パスポート、公式ツアー、公式グッズ
	2025/9/25	2ページ	メインビジュアル、宇多津エリア・塩サミット、作品鑑賞パスポート、公式ツアー、公式グッズ
	2025/4/1-10/31	WEB	瀬戸内国際芸術祭の概要
島島ラジオ	2025/4/12-11/8	CM 20秒 120本	瀬戸内国際芸術祭の開催、新規エリアおよび夜間鑑賞の案内

交通機関等

実施日	地域	場所等	内容
2024/11/9-2025/11/9	香川県	高松空港	柱巻き、ポスター掲出(国内・国際線コンコース、国際線搭乗待合室、パッセンジャーボーディングブリッジ(PBB))、のぼり
2024/11/24-2025/3/31	東京都	JR池袋駅	壁面広告
2025/3/17-10/19	中国地方 近畿地方(一部) 中部地方(一部)	JR大阪駅、JR京都駅、JR岡山駅 ほかJR西日本管轄駅	車内中吊り、デジタルサイネージ、大阪駅セントラルサウンドビジョン、西Navi掲載等
2025/3/25-11/9	岡山県	さんすて岡山	さんすてテラステーブル装飾、館内タペストリー掲出、チラシ類設置
2025/4/1-11/9	岡山県	JR岡山駅	ホーム柱巻、懸垂幕、壁面パネル、おかやま駅チカARTWALLの芸術祭開催告知大規模パネル展示、チラシ類・のぼり設置
2025/4/18-11/9	香川県	ことでん高松築港駅 他12駅	デジタルサイネージ、ポスター掲出、車内中吊り、チラシ類設置
2025/3/3-30	東京都	東京都庁	デジタルサイネージ
2025/2/24-3/23	東京都	新宿周辺縦型スマートポール10箇所	デジタルサイネージ
2025/2/24-3/23(動画) 2025/3/10-3/23(ポスター)	東京都	都営地下鉄 浅草線、三田線、 新宿線、大江戸線の計17駅	ポスター掲出、車内PR動画
2025/4/18-11/9	香川県	高松港周辺	横断幕、のぼり
2025/4/18-11/9	香川県	各定期船	横断幕
2025/4/18-11/9	香川県	高松中央通り	サイドバナーフラッグ
2025/4/18-11/9	香川県	JR高松駅前広場周辺	のぼり150本



四国新聞 2025/4/18 ラッピング広告



テラステーブル装飾



おかやま駅チカ ARTWALL 大規模パネル展示

- 新聞・テレビ・ラジオ・雑誌・ウェブ・SNSの各種メディアで、企画発表会を行った2024年10月24日から2025年11月末日までに1,501件の掲載・放送があった。
- このうち、海外が125件(8.3%)、香川・岡山以外の国内が652件(48.2%)であった。

種別/地域	海外	全国	香川・岡山	地方	計
新聞	1	149	240	5	395
テレビ	6	30	220	9	265
ラジオ	0	3	16	2	21
雑誌	23	168	40	27	258
ウェブ	15	125	3	0	143
SNS	25	31	5	8	69
その他	55	120	128	47	350
合計	125	626	652	98	1,501

※ 2024年10月24日から2025年11月末日までの実績を集計。
 ※ 掲載・放送の主眼が芸術祭に置かれているものを中心に抽出。

国内メディアでの掲載・放送実績(主なもの)

新聞

- ・朝日新聞(全国)夕刊 8/19(4段)
- ・日本経済新聞(全国)春秋
- ・日本経済新聞(関西)4/24(4段)
- ・日本経済新聞(四国)8/13(4段)、8/14(4段)
- ・朝日新聞(地方)4/10(4段)、4/18(5段)
- ・読売新聞(地方)4/9(4段)、4/17(5段)、4/19(4段)、10/3(4段)
- ・毎日新聞(地方)4/4(3段)、5/8(5段)、8/14(4段)、10/4(4段)、11/4(4段)
- ・四国新聞4/4(3面)、4/18(8面)、7/18(3面)、8/1(3面)、9/19(3面)、10/3(5面)
- ・山陽新聞4/19(2面)、8/8(2面)、10/10(2面)
- ・「The Japan Times」7/30 掲載

雑誌

- ・「ことりっぶ Magazine 春号」3/11 掲載(12P)
- ・「AERA STYLE MAGAZINE」3/24 掲載(3P)
- ・「IKUNAS」3/20 掲載(2P)
- ・「ELLE JAPAN」3/28 掲載(8P)
- ・「Harper's bazaar ART」4/11 掲載(6P)
- ・「25ans(ヴァンサンカン)6月号」4/27 掲載(8P)
- ・「OZmagazine(6・7月号)」4/20 掲載(8P)
- ・「地球の歩き方 島旅シリーズ 小豆島」6/20 掲載(2P)
- ・「婦人画報」7/1 掲載(12P)
- ・「Casa BRUTUS」7/9 掲載(14P)
- ・「SAVVY」7/23 掲載(11P)
- ・「Hanako」7/28 掲載(18P)
- ・「ノジュール9月号」7/22 掲載(18P)
- ・「Discover Japan」9/5 掲載(10P)
- ・「FIGARO・JP11月号」9/20 掲載(6P)
- ・「芸術新潮10月号」9/25 掲載(15P)
- ・「MOE11月号」10/3 掲載(2P)

ラジオ

- ・RNC/RSKラジオ「島島ラジオ」4月-11月 毎週土曜日放送
- ・FM香川「瀬戸内しまらじ」4/1、8/5 放送

テレビ

- 〈全国〉
- ・読売テレビ「サタデーニュースライブ ジグザグ」4/19 生放送
- ・NHK「新プロジェクト X〜挑戦者たち〜 島に誇りを アートでよみがえった瀬戸内海〜」5/17 放送(特集)
- ・日本テレビ「ZIP!」6/5 放送
- ・テレビ東京「出没!アド街ック天国」7/5 放送
- ・NHK東京「天才てれびくん」7/15 全国放送
- ・日本テレビ「Oha!4」8/12、8/19 放送
- ・日本テレビ「日本ダダダ大移動」8/26 放送
- ・日本テレビ「24時間テレビ」8/31 放送
- ・NHK東京(Eテレ)「日曜美術館 アートでめぐる SETOUCHI」10/26、11/1(特集)
- 〈その他〉
- ・NHK岡山「@okayama 結ぶ・つなぐ 石橋静河がめぐる瀬戸内アート旅」4/4 放送(特集)
- ・RSK 山陽放送「RSK 地域スペシャルメッセージ」5/20 放送(特集)
- ・西日本放送「山口智子×島ノオト」7/27 放送
- ・NHK 高松「四国 colors 僕とアートのあいだに〜瀬戸芸〜女木島・引田編」8/26 放送(特集)
- ・NHK高松「さぬきドキッ! 僕とアートのあいだに〜瀬戸芸 小豆島編〜」9/12 放送(特集)
- ・TSC「テレビせとうち40周年記念番組 瀬戸内国際芸術祭 アートが彩る島々」9/23 放送(特集)
- ・KSB「魔法にかかった島々〜松山ケンイチと瀬戸内国際芸術祭」9/28 放送(特集)
- ・RSK「地域スペシャルメッセージ」10/1 放送(特集)
- ・NHK岡山「@okayama 体感!アート旅 山本美月の“瀬戸芸”」10/10 放送(特集)
- ・NHK高松「さぬきドキッ! つながりが創る島のアート」10/10 放送(特集・大島)
- ・NHK高松「チイキを見つけるアート旅 〜瀬戸芸2025〜」10/31、11/2 放送(特集)

ウェブメディア

- ・「ELLE」3/4、4/10、5/14掲載
- ・「FIGARO.jp」3/9、10/9、10掲載
- ・「婦人画報デジタル」3/11掲載
- ・「Tokyo Art Beat」2024/10/24、2025/3/18.26、4/18.21、6/2、7/4、8/1.6、9/30掲載
- ・「アートアジェンダ」4/3、5/9、5/10掲載
- ・「女性セブン+」4/11掲載
- ・「美術手帖」4/19、8/1、10/24掲載
- ・「TOKYO Numero」4/25掲載
- ・「読売新聞 美術展ナビ」4/28、5/5-8、8/8.10.15、10/8.11掲載
- ・「Casa BRUTUS」5/16.24、8/2.6.9.16.23.30、10/25、11/1.8掲載
- ・「ARTnews JAPAN」6/16、6/25掲載
- ・「25ans」6/20掲載
- ・「総理官邸ウェブマガジン KIZUNA」8/1掲載
- ・「大人のおしゃれ手帳」10/10掲載

海外メディアでの掲載・放送実績(主なもの)

新聞・雑誌

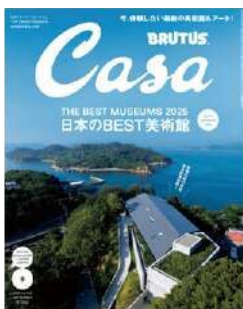
- ・「JAPAN DIGEST 3月号」(2P)／ドイツ
- ・「OR 旅読 9月号」(56P)／台湾
- ・「TO'GO 10月号」(6P)／台湾
- ・「Le Quotidien de L'art」9/29 掲載
- ・「The New Yorker」(予定)
- ・「National Geographic Traveller(UK版)4月号」

ウェブメディア

- ・「National Geographic (US版)」12/16掲載



「OZmagazine」(2025年5月12日発売号)／スターツ出版株式会社 ※掲載ページの一部を抜粋



「CasaBRUTUS」(2025年9月9日発売号)／株式会社マガジンハウス ※掲載ページの一部を抜粋

内部広報

瀬戸内国際芸術祭2025の機運醸成を図るため、実行委員会事務局が編集・発行し、事務局視点の芸術祭関連情報を構成団体や協賛企業など主に関係者向けに発信する「事務局連絡船」を創刊した。約1年半にわたり継続的に発行し、定期発行分は10号、さらに号外を3回発行した。



視察の受入れ

- 瀬戸内国際芸術祭の取組みについて、国内外の行政機関や団体等の参考にしてもらうため、視察の受入れを行った。

視察申込み数

(件)

区分		2023年度	2024年度	2025年度	計
国内	行政機関等※	2	4	24	30
	その他	5	10	27	42
国外	行政機関等※	2	5	8	15
	その他	2	3	7	12
合計		11	22	66	99

視察内容

レクチャー

(件)

区分		2023年度	2024年度	2025年度	計
国内	行政機関等※	2	4	14	20
	その他	5	9	23	37
国外	行政機関等※	2	5	5	12
	その他	2	3	7	12
合計		11	21	49	81

視察内容

現地視察(瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局員が視察者に随行したもの)

(件)

区分		2023年度	2024年度	2025年度	計
国内	行政機関等 ※	—	—	13	13
	その他	—	1	4	5
国外	行政機関等 ※	1	—	5	6
	その他	—	—	—	0
合計		1	1	22	24

※視察者に行政機関職員が含まれる場合は「行政機関等」の区分に分類。

お成り等のご視察

2025/5/14-15	寛仁親王妃信子殿下	「瀬戸内国際芸術祭2025」ご臨席
2025/10/2-3	秋篠宮皇嗣妃殿下並びに佳子内親王殿下	「瀬戸内国際芸術祭2025」ご臨席、併せて地方事情ご視察
2025/10/11-12	ヴィクトリア・スウェーデン王国皇太子殿下、ダニエル・スウェーデン王国王子殿下	ご視察

15

チケット

- 瀬戸内国際芸術祭2025の会期中、芸術祭の参加作品(施設)を各1回鑑賞できる作品鑑賞パスポートを2024年10月24日から閉幕日まで販売した。
- 券種は、全会期で有効な「オールシーズンパスポート」、各会期のみ有効な「1シーズンパスポート」を販売した。また、販売形式は、従来の紙冊子のパスポートに加えて、芸術祭公式アプリを利用した「デジタルパスポート」を販売し、デジタルパスポートの販売枚数はパスポート販売全体の43.6%を占めた。
- パスポートの受付形式を二次元コードに統一し、各作品受付で専用のスマートフォンにてスキャンを行うことでスムーズな受付が可能となった。
- パスポートの総販売枚数は107,711枚となり、過去最高の販売枚数となった。
- 香川県、岡山県の高校生を対象にユースパスポートの無料引換券を交付した(15歳以下は無料のため、案内所等で「こどもパスポート」を配付)

券種と価格

区分		オールシーズンパスポート	1シーズンパスポート
一般(19歳以上)	特別早割 (R6/10/24-R7/1/17)	3,800円	-
	前売り (R7/1/18-R7/4/17)	4,300円	-
	当日 (R7/4/18-)	5,500円	4,500円
ユース(16~18歳)		2,500円	-
島民		2,000円	-

販売実績(枚)

区分		オールシーズン	春会期	夏会期	秋会期	計
一般	特別早割	32,589	-	-	-	106,127
	前売り	25,179	-	-	-	
	当日	9,274	4,883	9,329	24,873	
ユース		612	-	-	-	612
島民		972	-	-	-	972
合計		68,626	4,883	9,329	24,873	107,711



公式グッズ、公式ショップ

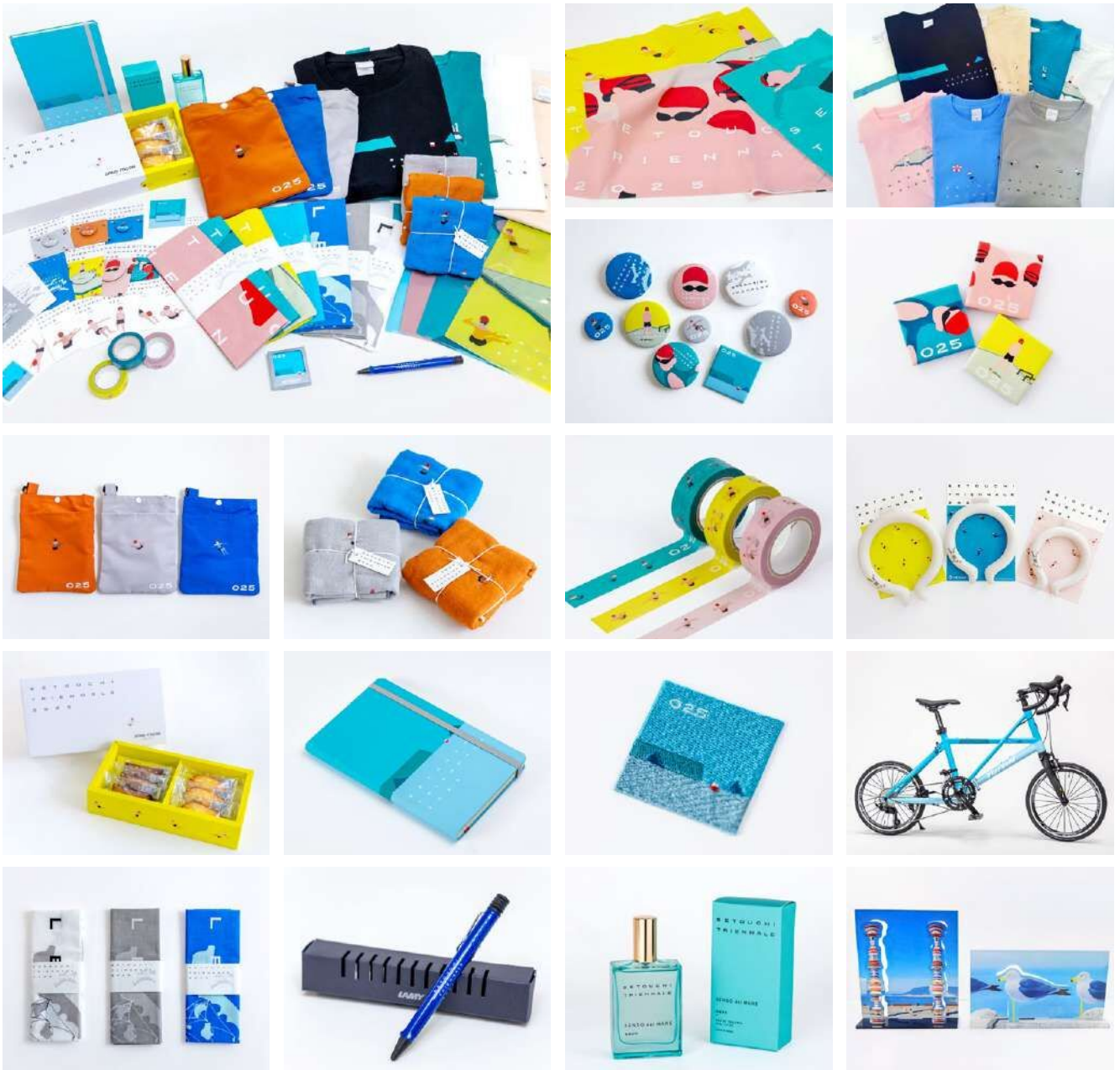
「メインビジュアル」「先行ビジュアル」「ロゴ」をモチーフにしたデザインで芸術祭の世界観を表現。定番品に加え、サコッシュやノートブックなどの便利で思い出に残るアイテムや、フレグランス・自転車などのプレミアム商品も展開した。そして、今回初めてアーティストグッズまで商品構成を拡充。高松港および直島の公式ショップ、公式オンラインショップ、高松空港「四国空市場」など各種流通先で販売し、オンラインショップでは海外発送にも対応することで、グローバルな販路も拡大した。総売上は2億3,000万円に達した。

公式グッズ

No.	商品名/種類数	販売価格(税込)	販売点数
1	公式ガイドブック/1種	1,650円	2,329点
2	Tシャツ(MV)/6種	3,700円	5,947点
3	Tシャツ(TV)/2種	3,700円/4,000円	1,733点
4	缶バッジ(MV大)/3種	450円	2,435点
5	缶バッジ(MV小)/6種	400円	6,318点
6	缶バッジ(TV)/1種	600円	1,598点
7	缶バッジ(L)/3種	400円	1,181点
8	てぬぐい(MV)/3種	1,650円	1,637点
9	てぬぐい(TV)/1種	1,650円	342点
10	てぬぐい(L)/3種	1,200円	852点
11	マスキングテープ(MV)/3種	500円	2,271点
12	ハンカチ(MV)/3種	1,800円	3,705点
13	トートバッグ(MV)/1種	2,800円	745点
14	ポストカード(MV)/3種	200円	6,132点
15	ポストカード(TV)/1種	200円	2,708点
16	ポストカード(作品)/20種	200円	3,694点
17	クリアホルダー(MV)/3種	350円	3,046点
18	クリアホルダー(TV)/1種	350円	1,637点
19	お菓子(MV)/1種	2,000円	975点
20	サコッシュ(MV)/3種	2,000円	3,235点
21	ボールペン(L)/1種	4,400円	134点
22	マグネット(MV)/3種	880円	3,856点
23	マグネット(TV)/1種	880円	4,901点
24	刺繍ステッカー(MV)/6種	880円	2,685点
25	刺繍ステッカー(TV)/1種	1,100円	1,035点
26	シールステッカー(MV)/3種	300円	2,549点
27	シールステッカー(TV)/1種	300円	1,288点
28	シールステッカー(L)/3種	300円	1,645点
29	Moleskine製トラベルノートブック(TV)/1種	4,800円	429点
30	SENSO del MARE製フレグランス(L)/1種	9,900円	619点
31	TEMBEA製トートバッグ(MV)/2種	13,200円/15,400円	96点
32	TEMBEA製ポーチ(MV)/1種	4,950円	50点
33	アイスリング(MV)/1種	3,000円/3,300円	66点
34	切手(MV&TV)/1種	2,050円	232点
35	刺繍パネル(MV)/1種	88,000円	4点
36	刺繍パネル(TV)/1種	33,000円	14点
37	公式ポスター(MV)/1種	2,000円	242点
38	公式ポスター(TV)/1種	2,000円	141点
39	Tyrell製自転車(TV)/2種	470,000円/500,000円	1点
40	アクリルスタンド(大巻伸嗣「Liminal Air -core-」)★/1種	2,000円	62点
41	アクリルスタンド(木村崇人「カモメの駐車場」)★/1種	2,000円	149点

※MV:メインビジュアル/TV:先行ビジュアル/L:ロゴ/★:アーティストグッズ

※販売数は、高松港および直島の公式ショップ2店舗で集計(2025年11月10日時点)



Photo(最右列1~3, 5段目を除く) : Shintaro Miyawaki

公式ショップ

高松港公式ショップ「海の市場」

時間：9:00~20:00
 期間：会期中

直島公式ショップ 海の駅「なおしま」内

時間：9:30~18:00
 期間：会期中
 及び7月19日~31日、9月1日~10月2日

オンラインショップ

期間：2025年5月2日~2026年2月28日



高松港公式ショップ「海の市場」



直島公式ショップ

Photo(2点とも) : Shintaro Miyawaki

地域への波及、連携

各会場での住民主体の活動等

直島

- ・瀬戸内国際芸術祭直島町実行委員会が中心となり、住民による会場周辺や道路の清掃活動を実施した。
- ・春会期の開幕及び秋会期の閉幕に合わせて、来場者のお出迎え、お見送りのために、直島つつじ太鼓による演奏が行われた。
- ・会期中の土日を中心に、地元の有志による「お見送りし隊」が来場者のお見送りを行った。

豊島

- ・豊島観光協会と住民が共同して、檀山の清掃活動を定期的に行った。
- ・リン・シュンロン作品のワークショップに多くの住民が参加し、作家との交流を楽しんだ。また、豊島中学校の生徒もこのワークショップに参加し、芸術祭についての校外学習を行った。
- ・ジェナ・リー作品の素材として住民から急須を集め、作家と一緒に急須を洗うワークショップを通じて作家との交流を深めた。
- ・閉幕日に、小豆島豊島フェリー・豊島フェリーの協力を得て、住民と関係者が来場者のお見送りを行った。

女木島

- ・ヤコブ・ダルグレン及びエミリー・ファイフの作品の素材を募集したところ、住民の協力のもと多くの素材が集まった。
- ・ヤコブ・ダルグレン及び五十嵐靖晃の作品制作のワークショップに多くの住民が参加し、作家との交流を深めた。
- ・芸術祭の開幕にあわせて、1軒の飲食店が新たに開業した。
- ・住民やアーティスト等によるお見送りをを行い、来場者から大変好評だった。

男木島

- ・エミリー・ファイフの作品展示会場の整備に老人会のメンバーが協力してくれた。また作品制作のワークショップに多くの住民やボランティアが参加した。
- ・松井えり菜の作品展示会場では、男木小・中学校の子どもたちがこえびボランティアとして受付を行い、住民や来場者に向けて作品の説明を行った。
- ・きゅうかくうしおのイベントでは、演奏や神輿の演出をするために多くの住民が参加した。
- ・こえび隊をはじめとして、住民や警備スタッフ、案内所スタッフ等がそれぞれ自主的にお見送りを行った。また、最終日の最終便では住民が紙テープでお見送りし、TEAM男気が船上で旗振りを行った。

小豆島

- ・中山地区の有志やボランティアサポーターが、ワン・ウェンチャーの作品に必要な竹の伐採に協力してくれた。
- ・神浦コミュニティセンターにおいて、神浦自治会が来場者に地域のご案内をしたほか、土日限定でお素麺やおにぎりのお接待を行った。
- ・福田地区自治連合会が瀬戸内アジアギャラリーの受付や、併設するカフェや食堂でドリンクや食事の提供を行った。
- ・迷路のまちボランティアガイドが、作品が点在する迷路のまちの周遊案内を積極的に行った。
- ・土庄港において、秋会期の毎週日曜日に土庄町商工会が中心となり、水軍太鼓の演奏、チアガールのパフォーマンス等を行ったほか、青年団、婦人部、子どもたちによるお見送りのイベントを行った。

大島

- ・大島青松園、入所者自治会、高松市、瀬戸内こえびネットワークと月1回の定例検討会を実施し、来場者の入島や作品公開に向けて協議を行った。
- ・瀬戸内少女歌劇団に出演する音楽家「青い鳥のハモニカ」の島内向け音楽コンサートを行った。
- ・【つながりの家】カフェ・シヨルで、大島で採れた梅や柑橘類を使ったお菓子やドリンクの提供を行った。
- ・「学ぶ!楽しむ!大島サマースクール」では、参加者の小中学生と入所者との交流が行われた。

■ 犬島

- ・大宮エリーの「フラワーフェアリーダンサーズ」の完成を記念し、アーティストを招いて「フラワーフェアリー生誕祭」を開催した。また、岡山市内の児童生徒が参加するワークショップを開催した。
- ・犬島婦人会により、来場者へ季節の食がふるまわれた。

■ 高松港エリア

- ・高松市屋島山上交流拠点施設(愛称:やしまーる)での作品展示に伴い、施設において作家によるワークショップを企画・開催し、屋島山上に多くの人が訪れた。
- ・高松港で展開した高松港プロジェクトにおけるベンチやサンシェード、飲食の提供を行う「SETOUCHI KITCHEN」は来場者のみに留まらず、地元の住民にも利用された。
- ・ベトナムマルシェでは、県内在住のベトナム人が多数訪れ、来場者とベトナム人出店者とのコミュニケーションを自発的に手助けする光景が見られた。

■ 宇野港エリア

- ・たまの観光ボランティアガイドの会「つつじの会」が宇野駅でのお出迎えや港周辺案内、清掃活動を行った。
- ・小沢敦志の作品に使用する鉄材製作や淀川テクニックの作品メンテナンスのワークショップを開催し、多くの住民とボランティアサポーターが参加した。
- ・地元老人会や企業、高校生等がボランティアサポーターとして作品受付を行い、来場者との間に交流が生まれた。
- ・住民や芸術祭関係者が協力して、フェリーの乗船客のお見送りを行った。

■ 瀬戸大橋エリア

- ・春会期を前に、地域住民や市内企業・団体、市職員による一斉清掃を行った。
- ・地元企業や高校生、有志の方々が協力してボランティアサポーターとして作品受付等を行い、来場者との間に交流が生まれた。
- ・瀬居島では、竹浦と北浦の漁師が獲ってきた魚を調理して提供したほか、公式ツアーでは、地元のお母さん2名が大皿に乗せた鯛そうめん「瀬戸内愛ちゃん『愛で鯛そうめんランチ』」を提供し、参加者に好評だった。
- ・沙弥島では、地元のお母さんが作るわかめを使用した弁当「千代ちゃんの極旨島弁当」を提供した。
- ・王越では、作品を中心に王越の魅力を紹介する公式ツアーを行い、地元住民がガイドを務めた。

■ 志度・津田エリア

- ・地元自治会等が休憩所を複数設置し、熱中症対策として扇風機の設置や飲料水などの無料提供を実施したほか、野草の生け花等を飾り、来場者がくつろぎやすい空間づくりに取り組んだ。
- ・志度エリアでは、夜の街明かりとして「源内ランタン」を設置し、住民が維持管理を行った。
- ・さぬき市婦人団体連絡協議会が「さぬきお結び定食」を、さぬき市食生活改善推進協議会が「源内ランチ」をそれぞれ開発し、地域らしさを取り入れた昼食を提供した。

■ 引田エリア

- ・大きな手袋の作品制作のワークショップに住民を中心に延べ350人以上が参加した。
- ・東かがわ市婦人団体連絡協議会が、地域の食材をふんだんに使用した「東かがわ 母ちゃん弁当」を開発し、公式ツアー参加者に提供した。
- ・来場者に引田の古い町並みの情景をより楽しんでいただけるように、地域ボランティアが竹灯籠を設置した。

■ 宇多津エリア

- ・秋会期を前に、住民や町職員、町内企業による一斉清掃を行った。
- ・西澤利高の作品がある臨海公園敷地内において、地元漁協の協力により、約50枚の大漁旗を展示した。
- ・会期中には、婦人会による「鯖の押し寿司定食」や、漁協による「たこ飯」「小えびの唐揚げ」、町内事業者によるお弁当の販売を行った。
- ・エリア内の各所にベンチを設置し、多くの来場者に休憩場として利用された。

■ 本島

- 作品制作ワークショップに多くの住民が参加した。特にコタケマンのワークショップでは夏の暑い時期に屋外で実施したが、子どもたちも参加してくれた。
- 丸亀市市民交流活動センター「マルタス」にてコタケマンのワークショップを開催し、参加した子どもたちは泥を使って作家と一緒に絵を描いた。
- 来場者へのおもてなしや写真スポットとして、地元の有志が秋会期に合わせて市民センター前の空き地にひまわりを植え、また会期の途中からは和傘等を用意してくれ、来場者に好評だった。
- 子どもたちを含めた住民による「送り太鼓」を毎週末に実施した。

■ 高見島

- ボランティア団体の高見島応援団「さざえ隊」が、島内の花壇づくりや通路の草刈り等、島内整備を行い、来場者を迎える準備を整えた。
- 会期中は「さざえ隊」が郷土料理「茶粥」のお接待やショップを開設しお土産品等の販売を行った。
- 港では、船便にあわせて、住民や芸術祭関係者がのぼり旗や手を振って来場者のお見送りやお出迎えを行った。
- 会期中、島出身者や住民の親族が飲食店を期間限定で開店した。郷土料理や軽食、地元でとれた食材を用いた料理を提供し、来場者に好評だった。

■ 粟島

- 島の活性化を目的に発足した「粟島ぼ〜い&が〜るの会」と「海ほたる隊」が、会期中、来場者に作品紹介を行った。また、トイレの清掃を自発的に行い、環境美化にも取り組んだ。
- 市内のNPO法人が来場者に島や地域の魅力を伝えようと、島内ガイドツアー「子どもガイド」を実施した。
- 港では地元の有志が中心となって、紙テープや太鼓、銅鑼、大漁旗等を使ってお見送りを行った。
- 地元の高校生が市の特産を使ったお弁当を提供し、来場者に好評だった。

■ 伊吹島

- せとうち伊吹島元気隊を中心に「大きな椅子」を作り直し、島内6か所に設置した。
- 秋会期を前に、住民や市職員による島内の一斉清掃を行った。
- 秋会期の初日に観音寺港で船のお見送りを行った。また、伊吹真浦港では伊吹小中学校生徒がお出迎えを行ったほか、秋会期最終日には17時10分の便で帰る来島者を、地元の有志を中心に紙テープや旗を使ってお見送りを行った。
- 伊吹島実行委員会により、イリコ庵において無料のお茶会を開催した。
- 「うららの台所」事業では、地元の女性等によるメニュー作りや弁当の販売を行った。

香川県教育委員会や香川県・岡山県内の中学校・高等学校と連携し、瀬戸内国際芸術祭ならではの特性などを活かして未来の瀬戸内を担う子どもたちを育成する活動を行った。

アーティスト×中学生交流プログラム/アーティスト×高校生交流プログラム

中学生・高校生が、瀬戸内国際芸術祭に参加するアーティストと、アートに関する講義やワークショップを通じて交流することにより、自分たちが暮らしている地域の魅力を学ぶとともに、自ら考えて行動する経験をすることで、豊かな心や創造力を育み、人間性を磨き高める一助となることを目指し、受講希望があった中学校・高校を訪問して、美術の授業等で講義・ワークショップ等を行った。

実施日	実施校	参加作家(国籍)	内容
2024/9/26 2025/2/14	香川県立高松工芸高等学校	ヤコブ・ダルグレン(スウェーデン)	自身の作品についてのアーティストトークおよび芸術祭作品制作ワークショップ
2024/9/30	三木町立三木中学校	サラ・ハドソン(ニュージーランド)	自然顔料を用いた染色体験を通じて、素材と表現を学ぶワークショップ
2024/12/19	玉野市立荘内中学校	マフマドマフ(中国)	音づくりを通じて発想の広がりを体験するワークショップ
2025/1/24	香川大学教育学部附属坂出中学校	中崎透(日本)	対話をもとに看板制作を行うコミュニケーション型ワークショップ
2025/3/3、5	土庄町立土庄中学校	岡淳(日本)	芸術祭作品の制作にあたって作家が行うリサーチ(地域のお年寄りからの聞き取り)とともに体験するワークショップ
2025/6/13	高松市立紫雲中学校	佐藤研吾(日本)	高松港プロジェクトと建築を題材に、身近な場所から空間の意味を考える講義
2025/6/16	土庄町立豊島中学校	リン・シュンロン[林舜龍](台湾)	作家のこれまでの活動についての講義と現地での芸術祭作品見学および制作ワークショップ
2025/7/7	東かがわ市立引田小中学校	沼田侑香(日本)	アイロンビーズによる制作体験を通じて、表現の多様性を学ぶ造形ワークショップ
2025/8/25-31	香川県立多度津高等学校	BankART1929+PHスタジオ(日本)	地域で収集した不要になった椅子を再利用した、芸術祭作品制作ワークショップ
2025/9/22	丸亀市立本島小中学校	西村和宏(日本)	グループでの身体表現によるパフォーマンスアーツ創作体験ワークショップ
2025/9/26	三豊市立仁尾中学校	佐藤悠(日本)	線描から立体・影絵表現へ展開する創作および鑑賞を行うワークショップ
2025/10/17	香川県立高松工芸高等学校	ホンマタカシ(日本)	UNHCRとの連携による難民問題を題材とした講義と作家の取材体験にまつわる講義

高校生のための瀬戸内アートサマープログラム2nd(SASP 2nd)

香川県教育委員会生涯学習・文化財課との連携事業として、瀬戸内国際芸術祭や瀬戸内の島々について学び、その成果を発表し合う活動を通して、自分たちの住む地域の魅力や課題について考えるプログラムを実施した。

プログラムでは、北川ディレクター・香川大学長谷川特任教授による講義、瀬戸内こえびネットワークによる島・エリアでのフィールドワーク、生徒によるプレゼンテーション等が行われた。

実施日	テーマ	参加者数(校数)
2023/7/26-8/24 (うち3日間)	瀬戸芸的!島のおすすめコース (事業名をせとうち高校生探究&情報発信プロジェクトとして実施)	43名(15校)
2024/7/26-8/16 (うち3日間)	過去を未来につなぐ	38名(13校)
2025/7/12-8/23 (うち4日間)	瀬戸芸を感じ、自分の言葉で伝えよう!	34名(11校)

若手芸術家育成事業「瀬戸内アート塾」

- 芸術祭を通じた若手芸術家・芸術祭をサポートする人材の育成と香川県内への定着を目的に、令和5～7年度にかけて実施。
- 北川ディレクターや講師陣による講義、島でのフィールドワーク、滞在制作体験ワークショップ等を行った。
- プログラム終了後、参加者の数名が瀬戸内国際芸術祭2025の作品制作・運営にスタッフとして携わったほか、2名が香川県に移住するなど、芸術祭のサポート人材の育成及び県内への定着という点において、一定の成果が得られた。

実施日	プログラム内容	講師	参加者数
2023/8/19-8/26 計8日間	<ul style="list-style-type: none"> ・ディレクター講義・作品講評 ・瀬戸内こえびネットワークによるフィールドワーク(豊島・大島・女木島・男木島) ・講師陣による講義・ワークショップ(小豆島福田) 	北川ディレクター 豊福亮 南条嘉毅 村山悟郎	18名 (香川県居住5名、出身2名)
2024/7/17-7/26 計10日間	<ul style="list-style-type: none"> ・ディレクター講義・作品講評 ・ニキータ・カダン講義 ・瀬戸内こえびネットワークによるフィールドワーク(豊島・大島・男木島) ・講師陣による講義・ワークショップ(女木島) 	北川ディレクター 中崎透 榎原泰介 村山悟郎 豊福亮	18名 (香川県居住2名、出身4名)
2025/6/20-6/29 計10日間	<ul style="list-style-type: none"> ・ディレクター講義・作品講評 ・瀬戸内こえびネットワークによるフィールドワーク、講師陣による講義・ワークショップ(男木島、瀬居島、直島、女木島) 	北川ディレクター 松井えり菜 榎原泰介 下道基行 原倫太郎	8名 (香川県居住2名)



Photo(右端) : Shintaro Miyawaki

県内連携事業

- 芸術祭の開催効果を県内全域に波及させるため、県内全域を対象に公募で選定された58件の文化芸術イベントをデジタルスタンプラリー形式で周遊する「くるとりアートかがわ」を実施し、県内周遊の促進とともに、県の豊かな文化芸術に幅広く触れる機会の拡大を図った。(2025年4月18日から2026年1月31日まで実施)

地域別県内連携事業対象事業数

広域：2件、高松市内：32件、丸亀市内：2件、坂出市内：5件、観音寺市内：2件、さぬき市内：3件、東かがわ市内：3件、三豊市内：1件、
 三木町内：1件、直島町内：1件、宇多津町内：2件、綾川町内：2件、琴平町内：2件
 計58件

延べ参加者数

785人

- 芸術祭の開催年だけでなく、早い時期から、日本各地で開催されている芸術祭と相互に連携した取組みを行った。

連携した事業

- ・大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024(2024年7月13日～11月10日)
- ・第30回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)(2024年10月27日～12月22日)
- ・岡山芸術交流2025(2025年9月26日～11月24日)
- ・国際芸術祭「あいち2025」(2025年9月13日～11月30日)
- ・せとうち美術館ネットワーク
- ・北アルプス国際芸術祭2024(2024年9月13日～11月4日)
- ・奥能登国際芸術祭2023(2023年9月23日～11月12日)

- 開催前年度までは、主に芸術祭運営に関する職員研修や視察を行った。開催年度においては、公式ガイドブックや公式ウェブサイト
に連携先の事業を掲載するとともに、チラシ等の配布により連携先の事業の紹介を行った。また、連携先においては、ウェブサイト等
へ瀬戸内国際芸術祭についての情報の掲載や会場でのパンフレットの配布などが行われた。
- 国内で最も伝統のある現代日本彫刻展を開催している宇部市とは、連携協定を締結し、第29回UBEビエンナーレにおいて大賞を受
賞した西澤利高氏を、瀬戸内国際芸術祭2025の参加作家として招待した。

「瀬戸内美術館連携」プロジェクト

- 瀬戸内国際芸術祭2025の広域連携事業として、香川・岡山・兵庫3県の8つの美術館で、主に日本人の現代アーティストの展覧会を
開催し、瀬戸内国際芸術祭2025の会期中は、作品鑑賞パスポート提示で施設の鑑賞料割引などを実施した。

連携施設

- ・香川県立ミュージアム
「特別展 小沢剛の讃岐七不思議」(2025年8月9日～10月13日)
- ・高松市美術館
「特別展 石田尚志 絵と窓の間」(2025年8月8日～10月5日)
- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)
「大竹伸朗展 網膜」(2025年8月1日～11月24日)
- ・直島新美術館
「開館記念展示－原点から未来へ」(2025年5月31日～)
- ・岡山県立美術館
「特別展 平子雄一展 ORIGIN」(2025年9月16日～11月9日)
- ・大原美術館
「令和7年春の有隣荘特別公開 有隣荘へようこそ!現代アートでおもてなし」(2025年4月18日～5月11日)
「令和7年秋の有隣荘特別公開 森村泰昌「ノスタルジア、何処へ。」－美術・文学・音楽を出会わせる－」(2025年10月7日～11月9日)
- ・兵庫県立美術館
「藤田嗣治×国吉康雄:二人の平行・キャリアー百年目の再会」(2025年6月14日～8月17日)
「コレクション展 | ベスト・オブ・ベスト 2025」(2025年4月24日～12月14日)
「Channel 16 松元悠展」(2025年4月18日～5月25日)
「美術の中のかたち－手で見える造形 中谷ミチコ 影、魚をねかしつける」(2025年9月5日～12月14日)
「Ando Gallery」(通年開館)
- ・横尾忠則現代美術館
「横尾忠則の肉体派宣言展」(2025年5月24日～8月24日)
「復活!横尾忠則の髑髏まつり」(2025年9月13日～12月28日)

来場者アンケート

会期中に実施したアンケート調査に基づく来場者の傾向は、次のとおりである。

実施概要

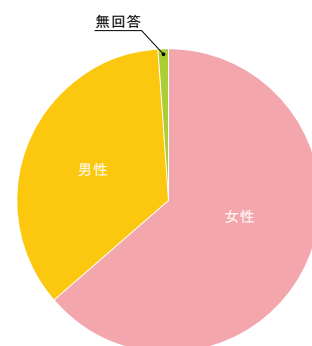
- ・各会場の港において、乗船待ちの来場者を対象にアンケート用紙を配付・回収した。また、各案内所において、アンケート二次元コードを掲示し、オンラインによるアンケートも実施した。
- ・紙アンケートの実施期間は、春会期は4月25日～5月8日の計14日間（オンラインは5月20日～5月25日の計6日間）、夏会期は8月8日～8月24日の計17日間（オンラインは8月1日～8月31日の計31日間）、秋会期は10月10日～10月26日の計17日間（オンラインは10月3日～10月26日の計24日間）。
- ・回答総数は12,807件。なお、無回答・不明の回答は集計から除いている。

来場者の属性

- 女性が63.7%、男性が35.4%であった。
- 「家族と来た」が41.8%、「友人と来た」が33.2%、「ひとりで来た」が22.0%であった。
- 30代が最も多く21.6%、次いで50代の20.4%、40代が19.1%であった。

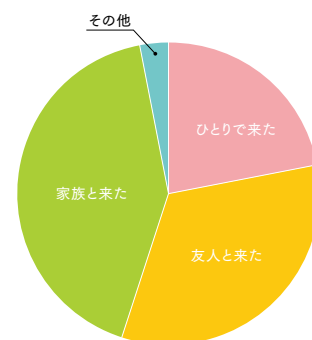
性別							
性別	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
女性	8,135	63.7%	64.0%	64.9%	67.2%	67.5%	68.6%
男性	4,523	35.4%	34.6%	35.1%	32.8%	32.5%	31.4%
無回答	118	0.9%	1.4%	—	—	—	—
合計	12,776	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2019以前は選択肢に「無回答」なし



グループ関係							
回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
ひとりで来た	2,783	22.0%	21.1%	18.4%	17.5%	—	—
友人と来た	4,207	33.2%	34.3%	39.5%	40.1%	—	—
家族と来た	5,286	41.8%	42.0%	37.8%	34.5%	—	—
その他	385	3.0%	2.6%	4.3%	7.9%	—	—
合計	12,661	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

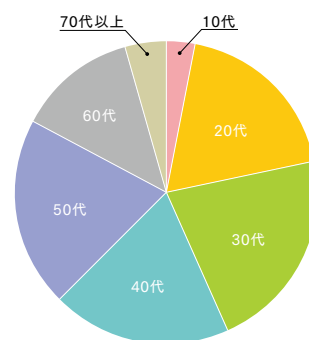
※2013以前は同データなし



- 居住地は、香川・岡山両県が36.8%、両県以外の国内が40.2%、国外が23.0%であった。
- 国内来場者の地域別では、四国地方が42.2%、次いで関東地方が18.7%、近畿地方が15.6%、中国地方が15.5%であった。
- 国外は、台湾、中国、香港が多く、国外来場者の約78%を占めている。
- 過去の芸術祭にも来場した、いわゆるリピーターは45.9%であった。

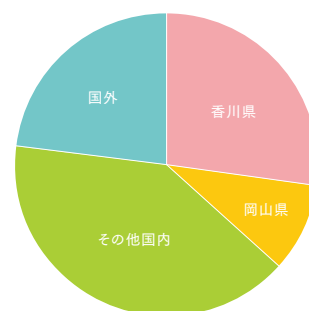
年齢

年齢	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
10代	406	3.2%	4.0%	3.4%	5.9%	8.6%	2.8%
20代	2,369	18.7%	23.0%	24.1%	24.7%	27.6%	40.8%
30代	2,741	21.6%	18.1%	23.6%	24.1%	23.9%	27.0%
40代	2,430	19.1%	19.0%	16.2%	18.1%	14.6%	12.1%
50代	2,586	20.4%	20.0%	16.2%	13.5%	12.1%	9.8%
60代	1,624	12.8%	10.8%	11.0%	10.1%	9.7%	5.8%
70代以上	536	4.2%	5.1%	5.5%	3.6%	3.5%	1.6%
合計	12,692	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



来場者居住地

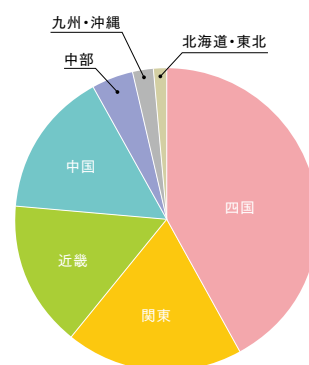
居住地	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
香川県	3,479	27.4%	30.9%	28.1%	30.9%	36.1%	27.6%
岡山県	1,194	9.4%	12.1%	10.5%	9.8%	11.0%	—
その他国内	5,095	40.2%	55.7%	37.8%	45.9%	50.3%	71.3%
国外	2,923	23.0%	1.3%	23.6%	13.4%	2.6%	1.1%
合計	12,691	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



※2010は選択肢「香川県」「香川県以外」「国外」のみ

国内来場者居住地

地方名	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
四国	4,077	42.2%	36.3%	42.1%	41.4%	41.1%	—
関東	1,802	18.7%	23.2%	15.7%	18.3%	17.8%	—
近畿	1,504	15.6%	16.1%	16.7%	17.0%	16.5%	—
中国	1,501	15.5%	16.0%	17.6%	14.7%	14.3%	—
中部	435	4.5%	5.0%	4.6%	5.4%	4.9%	—
九州・沖縄	215	2.2%	2.4%	2.5%	2.1%	1.9%	—
北海道・東北	128	1.3%	1.0%	0.8%	1.1%	0.9%	—
国外	—	—	—	—	—	2.6%	—
合計	9,662	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—



※2013は「国外」を含む割合、2010は同データなし

国外来場者居住地

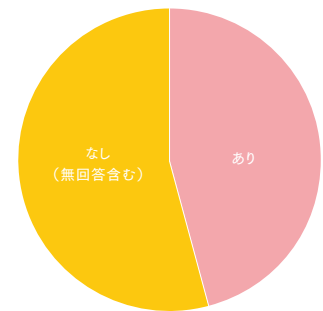
順位	国／地域名	回答数	割合	順位				
				2022	2019	2016	2013	2010
1	台湾	1,312	44.9%	2	1	1	1	—
2	中国	673	23.0%	1	2	3	8	—
3	香港	294	10.1%	3	3	2	4	—
4	アメリカ合衆国	89	3.0%	4	5	5	5	—
5	フランス	73	2.5%	10	7	4	3	—
6	韓国	69	2.4%	5	6	7	2	—
7	オーストラリア	63	2.2%	6	4	6	6	—
8	シンガポール	59	2.0%	—	—	—	—	—
9	ドイツ	35	1.2%	—	—	—	—	—
10	イギリス	29	1.0%	7	9	7	7	—
—	その他	227	7.7%	—	—	—	—	—
合計		2,923	100.0%	—	—	—	—	—

※2010は同データなし

過去の芸術祭への来場の有無

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
あり	5,882	45.9%	55.0%	40.5%	40.9%	32.2%	—
なし(無回答含む)	6,925	54.1%	45.0%	59.5%	59.1%	67.8%	—
合計	12,807	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—

※2010は同データなし



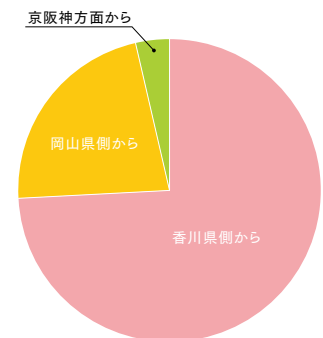
会場の島への入島経路

- 会場の島へ渡る際、香川県側から渡った人が74.2%、岡山県側からが22.2%、京阪神方面からが3.6%であった。

会場の島へ渡る際、どちら側から渡ったか

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
香川県側から	8,309	74.2%	73.1%	75.4%	—	—	—
岡山県側から	2,488	22.2%	24.1%	18.8%	—	—	—
京阪神方面から	407	3.6%	2.8%	5.8%	—	—	—
高松港	—	—	—	—	61.0%	62.8%	64.8%
宇野港	—	—	—	—	19.7%	21.0%	29.6%
その他	—	—	—	—	19.3%	16.2%	5.6%
合計	11,204	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2019から設問の選択肢を変更



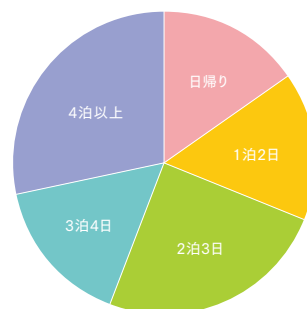
来場者の滞在状況

- 香川・岡山県以外からの来場者の平均滞在日数は3.26日(芸術祭2022:2.85日)であり、宿泊者の平均宿泊数は2.66泊であった。
- 香川・岡山県以外からの来場者の宿泊地は、高松市内が55.9%、次いで小豆島が9.5%、直島が8.9%であった。

香川県、岡山県以外からの来場者の滞在(宿泊)日数

日数	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
日帰り	1,169	15.3%	17.5%	20.0%	26.8%	25.8%	51.3%
1泊2日	1,216	15.9%	21.8%	18.4%	22.7%	28.3%	20.2%
2泊3日	1,889	24.8%	31.9%	23.5%	25.6%	27.6%	17.6%
3泊4日	1,208	15.8%	16.0%	12.9%	12.3%	11.4%	7.1%
4泊以上	2,148	28.2%	12.8%	25.2%	12.6%	6.9%	3.8%
合計	7,630	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

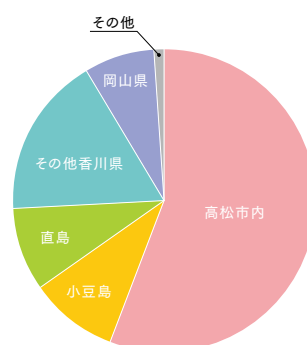
※2010は香川県・岡山県からの来場者を含む



香川県、岡山県以外からの来場者の宿泊地(複数回答あり)

宿泊地	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
高松市内	4,812	55.9%	48.2%	54.1%	40.4%	41.4%	—
小豆島	817	9.5%	14.0%	15.5%	18.4%	18.8%	—
直島	767	8.9%	14.4%	12.2%	17.9%	18.6%	—
その他香川県	1,485	17.2%	13.9%	11.0%	14.1%	13.0%	—
岡山県	656	7.6%	8.2%	6.0%	6.0%	6.0%	—
その他	78	0.9%	1.3%	1.2%	3.2%	2.2%	—
合計	8,615	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—

※2010は同データなし

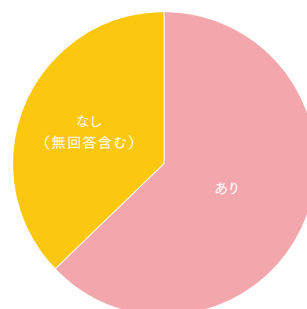


香川県内の他の観光地への訪問

- 約1.59人に1人が香川県内の芸術祭以外の観光地を訪問している。

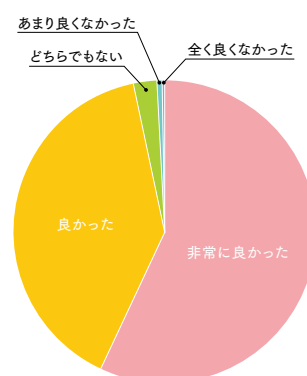
香川県内の他の観光地への訪問の有無

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
あり	7,983	62.8%	41.3%	32.9%	51.2%	27.3%	25.9%
なし(無回答含む)	4,724	37.2%	58.7%	67.1%	48.8%	72.7%	74.1%
合計	12,707	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



96.7%が「非常に良かった」「良かった」と評価している。

芸術祭に対する評価		割合					
回答	回答数	今回	2022	2019	2016	2013	2010
		非常に良かった	7,156	57.1%	54.2%	45.7%	55.4%
良かった	4,961	39.6%	42.0%	51.8%	39.9%	41.2%	39.2%
どちらでもない	337	2.7%	3.1%	—	3.7%	4.6%	7.7%
あまり良くなかった	51	0.4%	0.6%	2.3%	0.8%	1.2%	1.3%
全く良くなかった	20	0.2%	0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.3%
合計	12,525	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



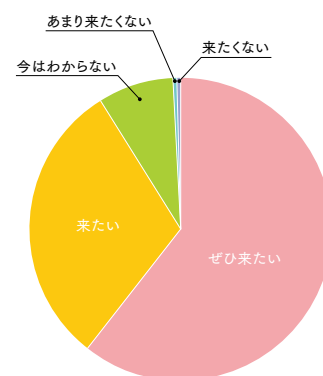
※2019は選択肢「どちらでもない」なし

※2016、2013は「とても良い」→「非常に良かった」、「まあ良い」→「良かった」、「悪い」→「全く良くなかった」に置換

※2010は「良い」→「非常に良かった」、「まあまあ良い」→「良かった」、「良くない」→「全く良くなかった」に置換

次回芸術祭が開催された場合、91.3%が「ぜひ来たい」「来たい」と回答している。

次回開催されたらまた来たいか		割合					
回答	回答数	今回	2022	2019	2016	2013	2010
		ぜひ来たい	7,609	60.7%	63.4%	49.4%	51.0%
来たい	3,831	30.6%	28.2%	36.9%	30.5%	30.0%	76.2%
今はわからない	1,019	8.1%	7.9%	12.4%	15.2%	16.3%	21.8%
あまり来たくない	44	0.4%	0.3%	—	2.3%	2.5%	—
来たくない	35	0.3%	0.2%	1.3%	1.0%	0.8%	2.0%
合計	12,538	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



※2019は選択肢に「あまり来たくない」なし

※2016、2013は選択肢「たぶん来ない」→「あまり来たくない」、「もう来ない」→「来たくない」に置換え

※2010は選択肢に「ぜひ来たい」、「あまり来たくない」なし

地域住民の評価

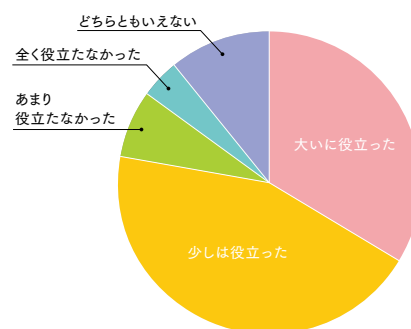
住民アンケート

- 芸術祭終了後、作品展示エリア地域の住民を対象にアンケート調査を実施し、2,616名から回答があった。
- 芸術祭2025が地域の活性化に「大いに役立った」、「少しは役立った」と回答した住民は78.0%であった。

地域活性化に役立ったと思いますか。

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
大いに役立った	873	33.7%	25.0%	34.4%	24.5%	33.9%	36.3%
少しは役立った	1,149	44.3%	48.0%	39.0%	47.6%	42.5%	46.1%
あまり役立たなかった	183	7.1%	10.9%	9.2%	13.4%	9.1%	12.7%
全く役立たなかった	108	4.2%	4.0%	6.3%	6.7%	5.9%	4.9%
どちらともいえない	278	10.7%	12.1%	11.1%	7.8%	8.6%	—
合計	2,591	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2010は選択肢に「どちらともいえない」なし

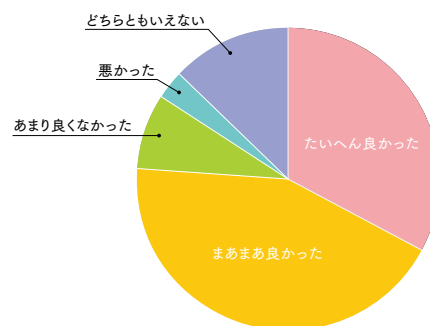


- 自分が住む地域に芸術祭の作品が設置されたことについて、「たいへん良かった」、「まあまあ良かった」と回答した住民は76.3%であった。

お住まいの地域に作品が設置されたことは良かったですか。

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
たいへん良かった	810	32.8%	25.0%	31.8%	24.9%	36.2%	42.9%
まあまあ良かった	1,074	43.5%	45.9%	36.6%	42.6%	42.2%	45.4%
あまり良くなかった	197	8.0%	10.0%	8.7%	9.8%	6.0%	8.9%
悪かった	75	3.0%	2.7%	6.0%	5.5%	4.0%	2.7%
どちらともいえない	314	12.7%	16.4%	16.9%	15.2%	11.6%	—
合計	2,470	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2010は選択肢に「どちらともいえない」なし

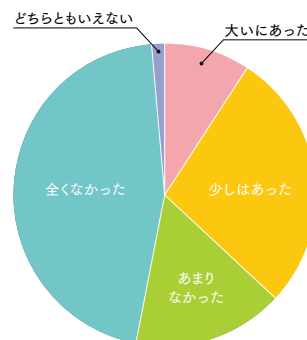


- 作家や来場者との交流が「大いにあった」、「少しはあった」と回答した住民は37.2%であった。

作家や来場者と交流する機会はありましたか。

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
大いにあった	201	9.4%	8.1%	10.8%	15.5%	—	—
少しはあった	595	27.8%	26.0%	30.2%	33.7%	—	—
あまりなかった	341	15.9%	12.9%	16.3%	18.3%	—	—
全くなかった	975	45.6%	50.7%	41.1%	31.3%	—	—
どちらともいえない	27	1.3%	2.3%	1.6%	1.2%	—	—
合計	2,139	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし

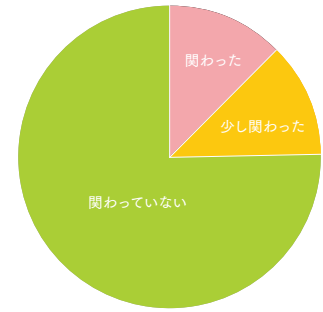


- 作品受付やボランティアなどに「関わった」、「少し関わった」と回答した住民が24.8%であった。

作品制作・受付、来場者の見送り、案内、食事の提供など芸術祭に関わりましたか。

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
関わった	325	12.6%	13.7%	17.2%	24.6%	—	—
少し関わった	317	12.2%	13.3%	16.6%	21.2%	—	—
関わっていない	1,945	75.2%	73.0%	66.2%	54.2%	—	—
合計	2,587	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし

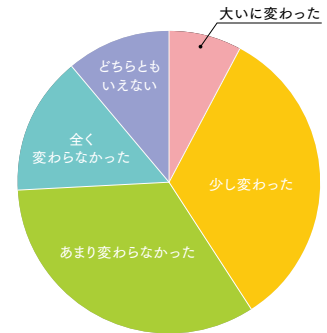


- 芸術祭を通じて自分が住む地域の見方が「大いに変わった」、「少し変わった」と回答した住民が41.1%であった。

地域の再発見や愛着、地域に対する思いや見方が変わりましたか。

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
大いに変わった	202	7.9%	6.9%	10.2%	10.6%	—	—
少し変わった	847	33.2%	28.3%	29.4%	34.4%	—	—
あまり変わらなかった	844	33.1%	34.5%	28.7%	27.5%	—	—
全く変わらなかった	381	14.9%	17.9%	23.1%	17.3%	—	—
どちらともいえない	278	10.9%	12.4%	8.6%	10.2%	—	—
合計	2,552	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	—

※2013以前は同データなし

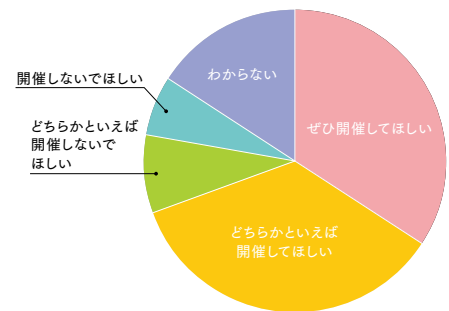


- 今後も芸術祭を「ぜひ開催してほしい」「どちらかといえば開催してほしい」と回答した住民が69.5%であった。

今後も芸術祭を開催してほしいですか。

回答	回答数	割合					
		今回	2022	2019	2016	2013	2010
ぜひ開催してほしい	868	34.3%	31.9%	32.8%	29.2%	49.4%	46.4%
どちらかといえば開催してほしい	891	35.2%	33.9%	30.1%	35.8%	33.9%	37.7%
どちらかといえば開催しないでほしい	215	8.5%	10.1%	12.2%	10.9%	7.4%	12.8%
開催しないでほしい	160	6.3%	5.6%	10.0%	8.3%	6.1%	3.0%
わからない	397	15.7%	18.5%	14.9%	15.8%	3.2%	—
合計	2,531	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

※2010は「開催に反対」を「開催しないでほしい」に置換え、選択肢に「わからない」なし



芸術祭閉幕後、会場となった地域の自治会役員や関係者等との意見交換会を開催した。

■ 直島

- ・リピーターが多く、芸術祭のブランド力の高さを感じられた。
- ・春会期を中心に、芸術祭特急バスの遅延が発生した。
- ・フェリーの積み残しが多発したので、引き続き航路事業者に増便を要望してほしい。
- ・海外からの来場者が本村地区の住宅に勝手に立ち入るといった問題があった。
- ・直島の混雑を防ぐために、他エリアの広報を強化してほしい。
- ・運営側・住民・来場者にとって、夏の酷暑での開催は避けた方が良いと考える。

■ 豊島

- ・各会期後に振り返り会が開催され、次の会期に向けて問題が改善されていた。
- ・来場者数に対して、豊島交流センターのトイレの浄化槽の容量が足りていない。
- ・作品を通じて来場者と交流ができるのはありがたい。
- ・案内所にゴミ箱、港にはゴミ回収用のコンテナを設置し、案内所スタッフが分別・仕分けを行ったおかげで、ゴミについてのクレームは無かった。
- ・レンタサイクルによる事故が多く、より一層の対策をとってほしい。
- ・夏会期は運営スタッフの体力がもたない。

■ 女木島

- ・秋会期には多くの積み残しがあった。次回は対策を検討してほしい。
- ・アーティストと島民との関わりをより増やしてほしい。
- ・島のイベント運営について、こえび隊の活動が非常に助かっている。
- ・夏会期の開催は無理があるのではないかと。子どもの夏休みがあり集客につながるの理解しているが、命に関わる問題なので検討してほしい。
- ・夏会期の開催の是非より、暑さ対策を検討したほうが良いのではないかと。

■ 男木島

- ・休島日の設定は良かった。
- ・島内では来場者が分散し、作品待機列が長くならなかった。
- ・港周辺でゴミ問題があった。男木島内へのエコステーションの設置を検討してほしい。
- ・時々現金を持っていない来場者がいる。現金を多めに持つよう周知してほしい。
- ・今回は災害がなく終わったが、会期中の災害対策について、県と市とさらに検討していきたい。
- ・公式イベント自体はうまくいったが、事前調整をもう少し丁寧にしてほしい。
- ・作家・来場者と住民の交流について、若年層の交流が活発であった一方、身体的にハードルが高い高齢者が参加しやすい交流の方法を検討してほしい。
- ・芸術祭がなくとも観光客は来る。夏会期があった方が、島の負担は少ないと思う。

■ 小豆島(土庄町)

- ・迷路のまちから島内の他の作品へ移動するバスの本数を路線・臨時バスを合わせて30分に1本まで増やしてほしい。
- ・迷路のまちでハロウィンイベントを開催し、地元の方だけでなく来場者の方も参加して楽しんでいただけた。
- ・迷路のまちの作品では、秋会期には17時でも待機列ができていたため、開館時間を延ばしてほしい。
- ・受付スタッフに体調不良者が出た。夏には夏の魅力があるが、屋外作品に日陰や休憩所を設けるなどの対策をしてもらいたい。

● 小豆島(小豆島町)

- ・瀬戸内アジアギャラリーでは、公式ツアーのお客様を含め、会期中たくさんの方に食を提供できて良かった。
- ・イベントに演者側の立場で携わることができ、良い経験になった。
- ・自治会メンバーができる限りワークショップに参加し、いろいろな作家と交流することができた。
- ・神浦地区の案内所で初めて電動モビリティの貸出を行ったが、小回りがきき、瀬戸内の風を切りながら周遊できて気持ちよかったと好評だった。お接待も大変喜ばれたので、継続していけたら良いと思う。
- ・ごみのポイ捨てが気になった。また、道に広がって歩く人がいて危険だった。
- ・小豆島は広くて作品数も多いため、周遊性を高める方策が必要である。
- ・作品について来場者に説明できるように、開幕前に関係者向けのツアーを催行してほしい。
- ・熱中症の危険性や宿泊のキャパシティの観点から、夏会期の開催について再度検討を行った方が良いのではないかな。

● 大島

- ・ゴミの持ち帰りが徹底できていなかった。
- ・来場者が立入禁止区域に誤って入ってしまうことがあった。看板等については工夫が必要。
- ・夏会期は、霊光会の教会に作品(山川冬樹「結ばれて当たり前なる夫婦なりしよ」)が設置されたことで、涼める場所ができて良かった。
- ・多くの人が大島に来てくれて、成功だと思う。

● 犬島

- ・島民の方も高齢化しており、3年先がどうなっていくかが気がかりだ。
- ・犬島の作品に変化がないので、定期的に作品を変えてほしい。
- ・「島あつての美術館、美術館あつての島」だと思っている。
- ・犬島は、医療環境が脆弱なので、夏会期を今後どうしていくか検討が必要。

● 宇野港エリア

- ・市内をより周遊してもらえるように、宇野港周辺での滞在をPRするなどの対策が必要。
- ・道やおすすめの場所等を聞かれることが多かったため、遊撃的なインフォメーションスタッフがいても良かったのではと感じた。民間プレーヤーを上手に案内役にできるような仕組みがあればよい。
- ・みやま公園に作品ができたことで、公園内で芸術関連のイベントを開催できた。
- ・来場者へのおもてなしなど、地元住民が誰でもまちおこしに参加できる機会を創出してほしかった。もっと住民を巻き込む必要がある。
- ・作品受付に入るこえび隊が、会期後半は特に不足していたので、もう少し地域と行政の皆さんで芸術祭を作っていける環境になればよいと感じた。
- ・夏会期は暑さをしのぐ休憩所が必要と感じた。
- ・市の東側にある有形文化財を使用して芸術祭イベントを開催した意義は大きい。今回のイベントで終わりではなく、東側には歴史的な観光資源も多く、今回の機会を今後どのように生かしていくのが課題である。

● 瀬戸大橋エリア

- ・沙弥島では、食の取り組みを通して地域の高齢者が来場者とコミュニケーションをとることができ、高齢者の笑顔を見ることができたので実施してよかった。
- ・沙弥島は新作がなかったので、弁当を食べる場所の検討や「万葉の島」として景観の紹介をもう少ししてほしい。
- ・瀬居島の駐車場については、居住区域への車両進入禁止や駐車場の統合などを検討してほしい。
- ・王越は準備が進む中で徐々に住民の関心が増えていき、芸術祭の会場になるという意識が芽生えだした。今後に向けていい方向にもっていきたい。

■ 志度・津田エリア

- ・志度、津田ともに芸術祭に関わることで、これまで希薄になりつつあった自治会同士の横の繋がりが深まり、自治会の中でも芸術祭の理解が徐々に広がった。
- ・会期中、休憩テントや夜明かりの管理のために会場を巡回していたところ、来場者からねぎらいの声をかけてもらえて嬉しかった。
- ・昼食提供にあたっては、食材の無償提供やオリジナル竹食器の製作等、さぬき市内の様々な団体の協力があって実現できた。食事はたくさんのお客様に喜んでもらえて、スタッフのやりがいに繋がった。
- ・今は終了した地域行事(源内おどり)が作品に取り入れられたことで、再び踊ることができて嬉しかった。
- ・自治会役員も高齢化しているため、3年後のことを考えるのは難しい。さぬき市では志度、津田以外の自治会は関連が薄かったため、市民全体に関わりやすくなる働きかけを望む。
- ・夏会期について、通りの夜明かりは夏の方が情緒があり良いと考えるが、夏は台風などの不安要素がある。スタッフの間でも、夏が良かったという意見と、夏以外の開催を望む意見に分かれた。

■ 引田エリア

- ・来場者から、引田エリアはコンパクトで回りやすく、人が温かい、また休憩所が多くて良かったとのお声をいただいた。
- ・来場者との関わりも良かったが、普段希薄になっていた地域住民同士の交流も深まり、良い機会となった。
- ・夏会期ということもあり、食中毒対策が特に気になった。暑い中での食提供や食べ物が傷みやすいこと、どうすれば来場者に涼しく食べていただけるか、また食べ物の売れ残りが課題であった。
- ・ファクトリーーツリズム「CRASSO(クラッソ)」を会期中に開催し、企業を回っていただくことで市内周遊に繋げることができたが、次回はさらに市内を回ってもらいやすい仕組みづくりが必要。
- ・エリア内にゴミが落ちておらず、瀬戸芸の来場者はマナーが良いと感じた。
- ・酷暑で来場者・運営双方の負担が大きかった。高齢ボランティアの体力面や、食中毒対策など食品衛生管理の難しさが課題として挙げられるが、総合的に検討し、夏開催の場合はさらなる暑さ対策が必要。

■ 宇多津エリア

- ・芸術祭への参加を契機に、「臨海部エリア」と「古街エリア」の住民間での交流が生まれ、顔を合わす機会が増えたことにより、地域づくりの発展に寄与された。
- ・次回も夜間開館を行うのであれば、今回以上の暗さ対策が必要。
- ・一番我々が嬉しいのは、お客さんからの「宇多津町、良かったね」の声。改めて地元にとっても「地域を知る」「地域の魅力を発見する」「地域を見直す」きっかけになった。
- ・作品受付の際に作品の説明をすると喜ばれる傾向にあったので、もっと作品やアーティストのことについて勉強しておけばよかった。また、制作の段階から交流できる機会があればなお良いと感じた。

■ 本島

- ・芸術祭に直接関係しない地域住民もいることから、地域全体にメリットがある仕組みを考えてほしい。
- ・まち並保存地区の空き家保全を兼ねるためにも、笠島での作品設置は、固定の家を使用し続けるのではなく、様々な空き家を使用してほしい。
- ・海外からの来場者に対応できるような多言語案内の資料や芸術祭に関する情報をもっと共有してほしい。
- ・作品制作のワークショップは、作品設置のないエリアの島民も参加できる雰囲気や醸成するため、実施会場の分散などの工夫をすると良い。
- ・イベント公演の時間配分が島民に十分に伝わらず対応に苦労したが、本島は臨機応変に動ける柔軟さがあり、島民が状況に応じて迅速に対応できるなど、イベントを通して得られた経験が活かされている。
- ・コタケマンのワークショップは多くの島民が参加し、ともに作り上げて楽しかった。
- ・鑑賞の待ち時間が発生する作品があった。より多くの方が楽しめるような鑑賞方法や待ち時間を有効に活用できるような対応を考えてほしい。

■ 高見島

- 集落のあちこちに設置された作品(家具φin高見島、星屑の子どもたち)を探す楽しみがあって良かった。
- お年寄りなど足腰が弱い人は坂の上の浦集落に行くことができないので、あまり作品を見ることができなかった。次は坂の下に作品を作ってほしい。
- 高見こいの家に設置された映像作品(「高見島アートトレイル」をトレイルする)がよかった。移動販売の時にこいの家に来た高齢者が映像を見て話が盛り上がった。
- 以前は会期前に住民向けの内覧会があったが、今回は無かったので、開催してほしい。
- さざえ隊は結成から10年以上経過し、メンバーの高齢化が目立ってきた。

■ 粟島

- ゆっくり作品鑑賞して島を楽しむような広報をしてほしい。船の出航時間が気になり、来場者にゆっくり作品を見てもらえないのもったいない。午後の船便も少ないので、16時頃に増便してほしい。
- 粟島のシンボルとなるような作品を港付近に制作してほしい。新作もすべて撤去されてしまったので、残る作品を作ってほしい。
- 来場者に作品だけではなく、島のことを褒めてもらえて嬉しかった。
- 作品制作に島民も携われると自分の言葉で話せるので、引き続き実施してほしい。

■ 伊吹島

- 屋外の新規作品は一つで寂しい感じがしたので次回はもう一つか二つは作品数を増やしてほしい。北浦に作品を置くのもいい。
- 伊吹の樹に行く道で迷ってしまい、県道まで出てしまう方がいた。島マップやアプリ経路検索を使っても辿り着けていないかもしれないので、来場者が迷わないように島マップ等作ってほしい。
- 作品鑑賞ルートが真浦港を降りてすぐの正面の坂を上らないといけないため、高齢者の方が歩いて移動するのは大変だと思う。坂を上るルートではなく、県道までの移動手段を整え、そこから下っていくルートを考えてほうがいいかもしれない。
- 今年は総文祭があり、瀬戸芸との連携は難しかったと思うが、高校生を巻き込んで来場者へのおもてなしを実施した方が良いと思う。
- 休島日の設定が良かった。毎日が賑やかすぎてひと息つきたいタイミングで休島日になったので良かったと思う。

芸術祭開催による効果

経済波及効果

- 日本銀行高松支店と瀬戸内国際芸術祭実行委員会が共同で、令和2年香川県産業連関表等を用いて推計した香川県内における経済波及効果は195億円であった。

経済波及効果		直接効果	1次波及効果	2次波及効果
195億円		130億円	42億円	23億円
うち春会期 47億円	うち春会期 31億円	うち春会期 10億円	うち春会期 5億円	
夏会期 44億円	夏会期 30億円	夏会期 9億円	夏会期 5億円	
秋会期 103億円	秋会期 69億円	秋会期 22億円	秋会期 12億円	

直接効果 芸術祭の来場者による県内消費金額から、財・サービスの調達を県外に頼らざるを得ないなど、県外に消費が流れた部分を控除したもの。

1次波及効果 直接効果によって県内各産業の生産額が増加した額。

2次波及効果 直接効果及び1次波及効果によって生じた雇用者所得の増加分が、新たな消費に向けられることにより、県内各産業の生産額が増加した額。

前提条件 瀬戸内国際芸術祭実行委員会が期間中に実施したアンケート結果や作品鑑賞パスポートの二次元コード読み取り数等を踏まえ、試算上の人員を26.7万人として推計。

その他地域経済への効果等

- 観光庁(四国運輸局)によると、2025年1月から10月までの香川県内の延べ宿泊者数は前年比101.8%で、外国人に限ると、同127.7%だった。また、8月の都道府県別の客室稼働率において、香川県が69.4%と全国7位の稼働率であった。
- 四国運輸局の調べでは、会期中における会場の島々への航路利用者が前回比136.4%となった。方面別では、いずれも対前回比で、直島・豊島・犬島方面が154.8%、男木島・女木島・大島方面が137.2%、小豆島方面が122.7%となったほか、秋会期開催の本島・高見島・栗島・伊吹島方面は125.7%であった。
- 高松空港の2025年4月から10月までの利用実績は、前年比107.8%であった。特に芸術祭の会期の中心となる5月、8月の2カ月では前年比109.5%であった。(※高松空港株式会社が毎月発表している「高松空港旅客輸送実績」より実行委員会事務局で集計。)
- JR四国の2025年度上半期(4月～9月)の鉄道運輸収入は、前年同期比で4.6%(約6億5,300万円)の増加となった。
- 英国放送協会(BBC)が選出した「2025年に旅行したい25カ所(The 25 best places to travel in 2025)」にて、直島が日本国内で唯一選ばれ、瀬戸内国際芸術祭が紹介された。
- 香川県が公表している県内の主要観光地(栗林公園、屋島、琴平、小豆島)の2025年1月から10月までの累計入込客数は387万2千人で前年比105.8%となった。
- 「じゃらん観光国内宿泊旅行調査2025」で、香川県が都道府県魅力度ランキングで総合満足度1位となった。
- あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)が国連教育科学文化機関(ユネスコ)本部で創設された「ベルサイユ賞(Prix Versailles)」の「世界で最も美しいアリーナ(The World's Most Beautiful Arenas)2025」の1つに選出された。

芸術祭2025の収支状況（3カ年）

収入

区分	2023年度	2024年度	2025年度(見込み)	計(見込み)
負担金	25	333	330	688
香川県	10	100	100	210
関係市町	15	133	130	278
福武財団	0	100	100	200
補助金・助成金	11	3	29	43
寄付金・協賛金	4	184	112	300
チケット・グッズ等販売	0	109	296	405
その他	7	13	25	45
小計	47	642	792	1,481
前年度繰越金	—	▲ 12	255	—
収入 計	47	630	1,047	① 1,481

(単位:百万円)

支出

区分	2023年度	2024年度	2025年度(見込み)	計(見込み)
アートプロジェクト費	41	210	536	787
作品制作費	30	191	430	651
イベント運営費	11	19	106	136
運営活動費	18	146	354	518
広報活動費	13	71	53	137
交通対策費	0	1	11	12
サポーター運営費	0	59	117	176
会場運営費	0	1	147	148
事務局運営費	5	14	26	45
チケット・グッズ等製作費	0	19	28	47
支出 計	59	375	918	② 1,352

(単位:百万円)

収支差額

収入 ①	1,481
支出 ②	1,352
収支差額(①-②)	129

(単位:百万円)

(参考:芸術祭2022)

収入	1,292
支出	1,165
収支差額	127

(単位:百万円)

瀬戸内国際芸術祭2025 総括報告

発行者 瀬戸内国際芸術祭実行委員会

発行日 2026年2月

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 2 5

